

参考資料

令和5年度
小田原市市民意識調査報告書
(速報版)

令和5年7月

1.調査の実施概要

(1)調査の概要

- 調査対象:住民基本台帳に記載されている18歳以上の市民3,000名(無作為抽出)
- 調査期間:令和5年4月25日(火)～令和5年5月12日(金)
- 調査方法:調査票を郵送後、郵便およびオンラインで回収。
- 配布・回収:

配布数	回収数			回収率
	計	郵送	オンライン	
3,000票	1,569票	1,132票	437票	52.3%

<参考>

- ・アンケートについては、回答の信頼性を高めるための配布数を設定しています。下表は、本市の人口(186,808人)をあてはめた場合の、統計学上必要とされる「信頼度」と「誤差」ごとに必要な回収数です。
- ・国の統計調査基準で求められる回収数は、「信頼度95%、誤差5%」ですが、今回の配布数(3,000)に対する回収数(1,569)は、「信頼度95%、誤差3%」であり、国の基準を上回る、高い信頼性が確保できた調査であると言えます。

		信頼度			
		90%	95%	99%	
誤差	3%	753	1,061	1,831	本調査は、この回収数を超えています。 国の統計調査基準で求められる回収数
	5%	272	383	663	
	10%	68	96	166	

(2)地域別の送付数

地域別の調査票送付数は次のとおりです。

なお、本調査では26ある連合自治会区域を、小田原市都市マスタープランにおける6つの地域に区分し、集計を実施しています。

	送付数	送付割合	人口*	人口割合
片浦地域	22	0.8%	1,246	0.7%
中央地域	997	33.2%	61,477	33.0%
富水・桜井地域	671	22.4%	40,013	21.4%
川東・南部地域	700	23.3%	46,328	24.8%
川東・北部地域	409	13.6%	26,429	14.1%
橘地域	201	6.7%	11,315	6.0%
合計	3,000	100.0%	186,808	100.0%

※人口は令和5年4月1日現在の数値です。

(3)年齢別の送付数

年齢別の調査票送付数は次のとおりです。

	送付数	送付割合	人口※1	人口割合
10歳代※2	61	2.0%	3,313	2.1%
20歳代	339	11.3%	16,413	10.3%
30歳代	381	12.7%	18,403	11.5%
40歳代	438	14.6%	24,612	15.4%
50歳代	528	17.6%	28,195	17.7%
60歳代	448	14.9%	22,918	14.4%
70歳代	502	16.7%	26,271	16.5%
80歳代以上	303	10.1%	19,379	12.1%
合計	3,000	100.0%	159,504	100.0%

※1 人口は年齢不明者を除く、令和5年1月1日現在の数値です。

※2 10歳代は18歳、19歳のみ。

(4)調査の設問項目

この調査は、設問内容ごとに項目立て(A~D)を行い、全28問で構成しています。

A:あなたご自身について教えてください<11問>

性別、年齢、家族構成、住まいの地域、居住歴などについて

B:あなたが小田原市に対して持つイメージを教えてください<5問>

市への愛着、居住継続希望およびその理由などについて

C:あなたの暮らしについて教えてください<10問>

第6次小田原市総合計画「2030ロードマップ1.0」の重点施策や、まちづくりの推進エンジンに関する内容について

D:あなたの幸福感について教えてください<2問>

自身の幸福度およびその幸福度の判断基準について

(5)報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

○「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比(百分率)で表現しています。

○「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。

○百分比による集計では、回答者数(該当質問においては該当者数)を100%として算出しています。

○本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記しており、選択肢の割合の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。

○設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。

○一部の設問については過去 3 か年の調査結果を比較するグラフを掲出しています。3 か年とも回収率は 50%を超え、サンプリング誤差は 99%の確率で 1.8%から 3.3%の範囲にとどまっています。以下の表は各年の調査で、調査結果の回答割合ごとに誤差がどの程度かを示したものです。たとえば、30 歳代であるという回答割合が 10%だったとすると、令和3年度では±1.9%、令和4年度では±1.8%、令和5年度では±2.0%に収まるということを意味しています。

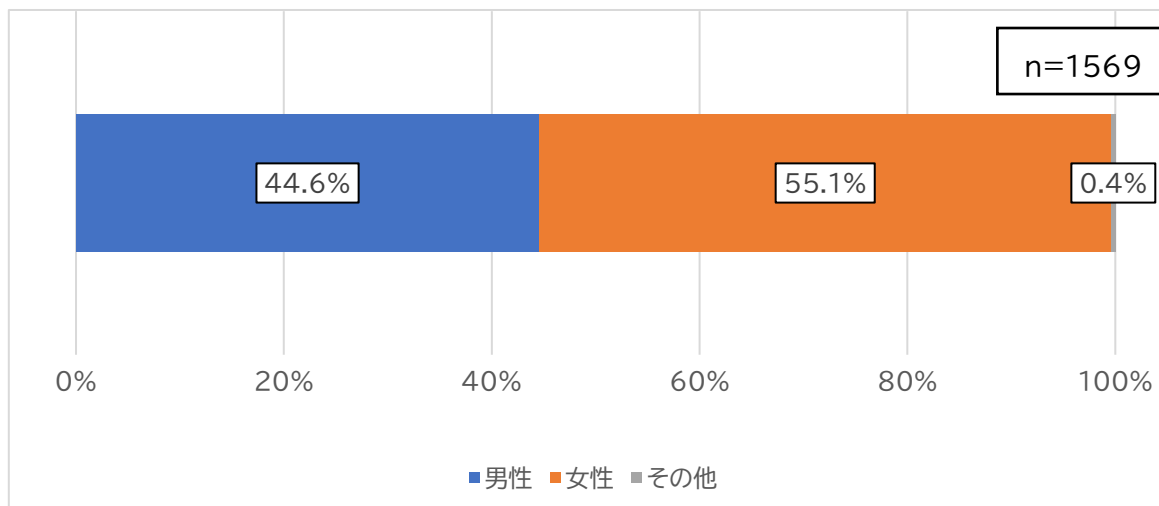
回答割合	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
50%	3.2%	3.1%	3.3%
40%か 60%	3.1%	3.0%	3.2%
30%か 70%	2.9%	2.8%	3.0%
20%か 80%	2.5%	2.5%	2.6%
10%か 90%	1.9%	1.8%	2.0%

2.調査結果

A. あなたご自身について教えてください

問1 あなたの性別を伺います。(1つに○)

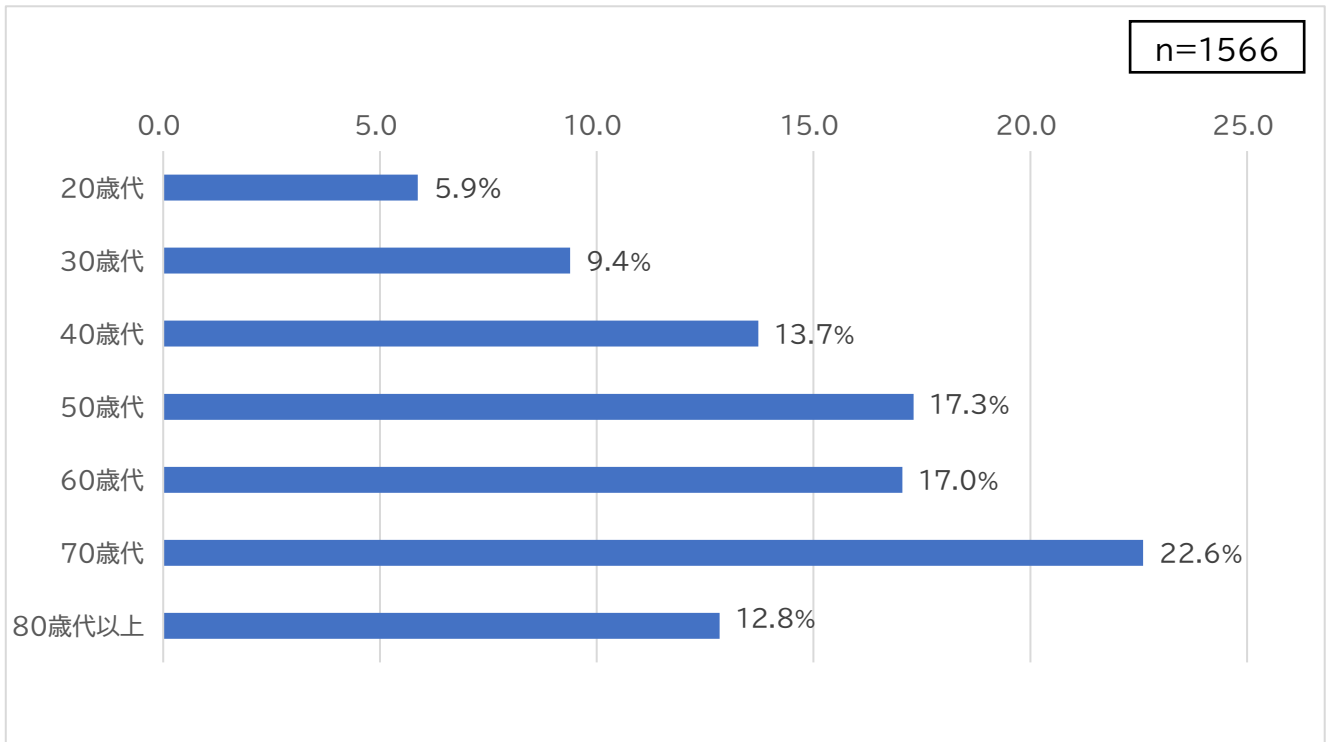
回答者の性別は、「男性」が 44.6%、「女性」が 55.1%となっています。



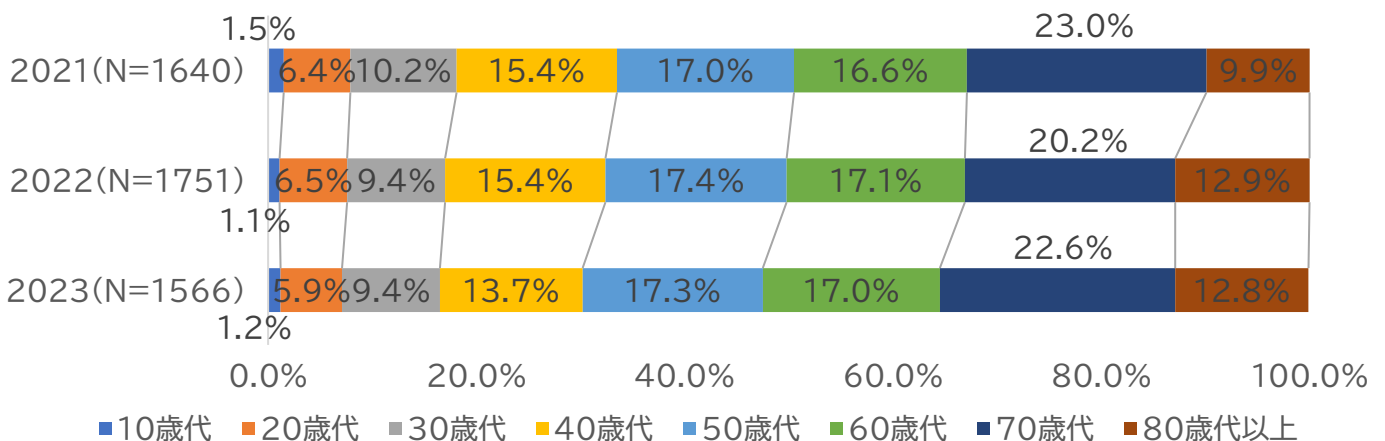
	回答数	割合
男性	699	44.6%
女性	864	55.1%
その他	6	0.4%

問2 あなたの年齢を伺います。(1つに○)

回答者の年齢は、「70歳代」が22.6%と最も多く、次いで「50歳代」が17.3%、「60歳代」が17.0%となっています。



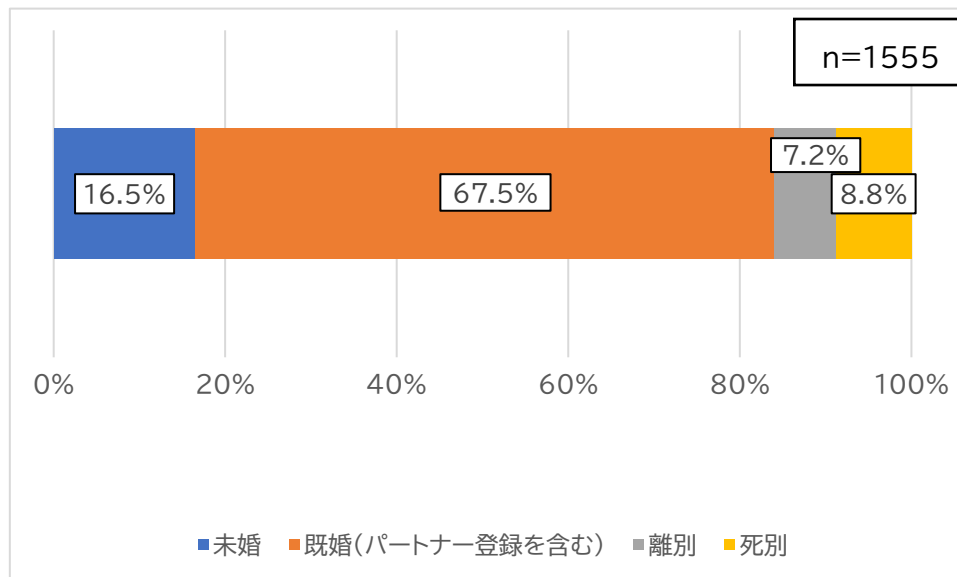
	回答数	割合
10歳代	19	1.2%
20歳代	92	5.9%
30歳代	147	9.4%
40歳代	215	13.7%
50歳代	271	17.3%
60歳代	267	17.0%
70歳代	354	22.6%
80歳代以上	201	12.8%



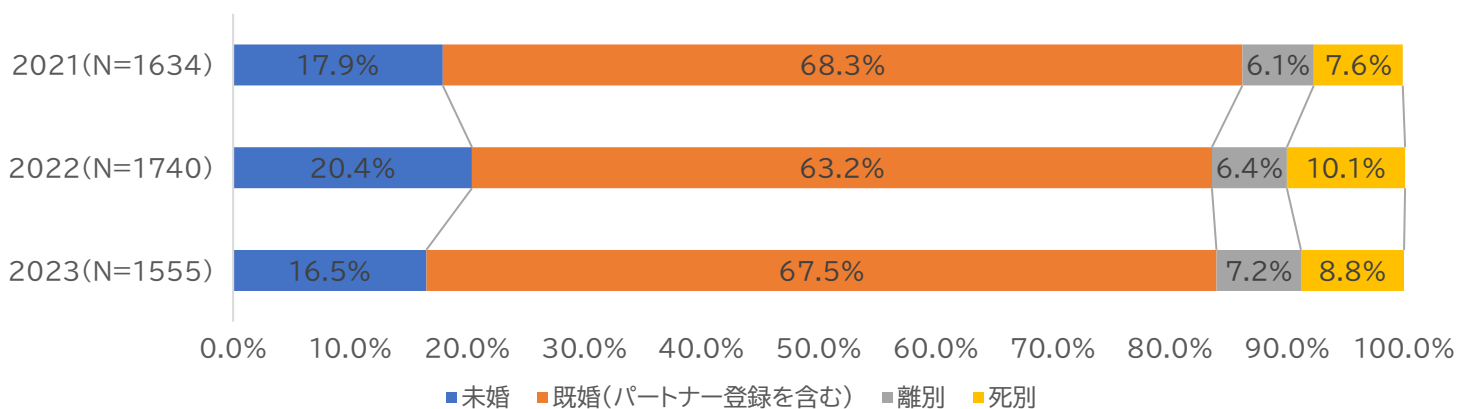
過去3か年の回答者の年齢構成の違いは、ほぼ誤差の範囲にとどまっています。

問3 あなたは配偶者がいらっしゃいますか。(1つに○)

回答者は、「既婚」が67.5%と最も多く、次いで「未婚」が16.5%となっています。



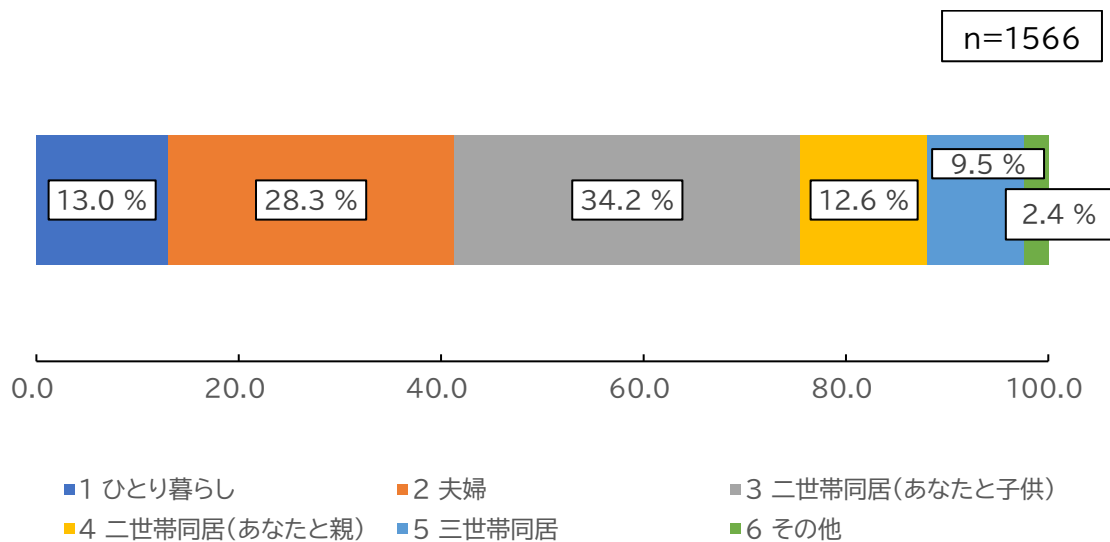
	回答数	割合
未婚	257	16.5%
既婚(パートナー登録を含む)	1049	67.5%
離別	112	7.2%
死別	137	8.8%



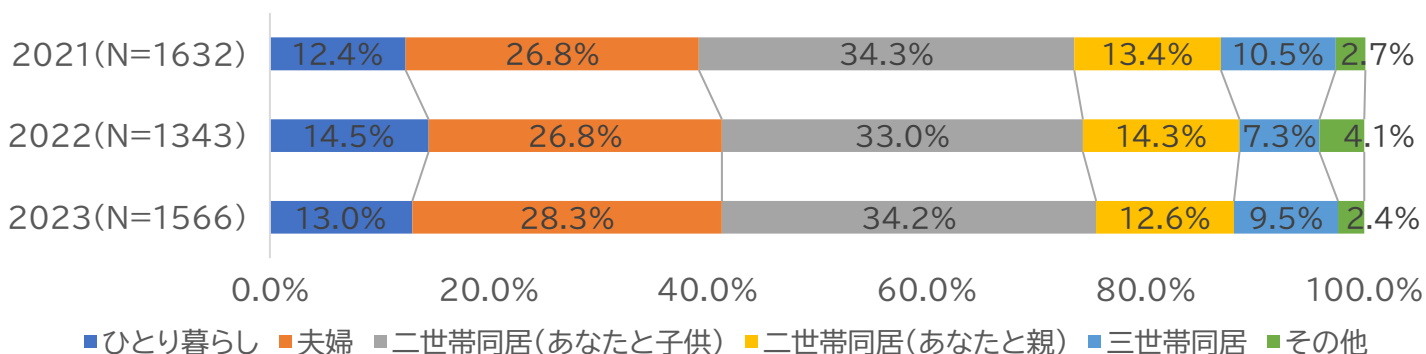
過去3か年で比較すると2022年度調査のサンプルが未婚者が若干多く、既婚者が少なくなっています。

問4 同居の家族構成を伺います。(1つに○)

回答者の同居の家族構成は、「子供との二世帯同居」(34.2%)が最も多く、次いで「夫婦」(28.3%)、「ひとり暮らし」(13.0%)、「親と二世帯同居」(12.6%)、「三世帯同居」(9.5%)となっています。



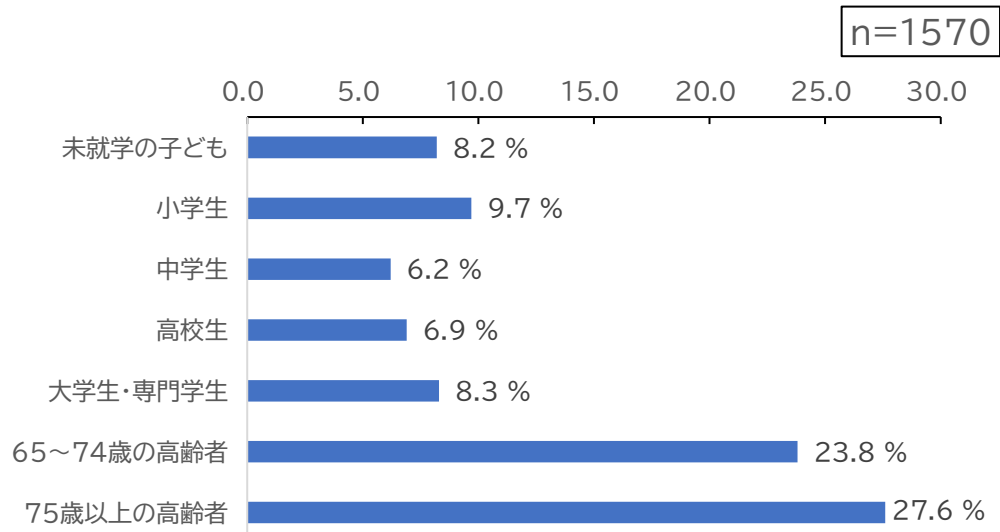
	回答数	割合
ひとり暮らし	204	13.0%
夫婦	443	28.3%
二世帯同居(あなたと子供)	535	34.2%
二世帯同居(あなたと親)	197	12.6%
三世帯同居	149	9.5%
その他	38	2.4%



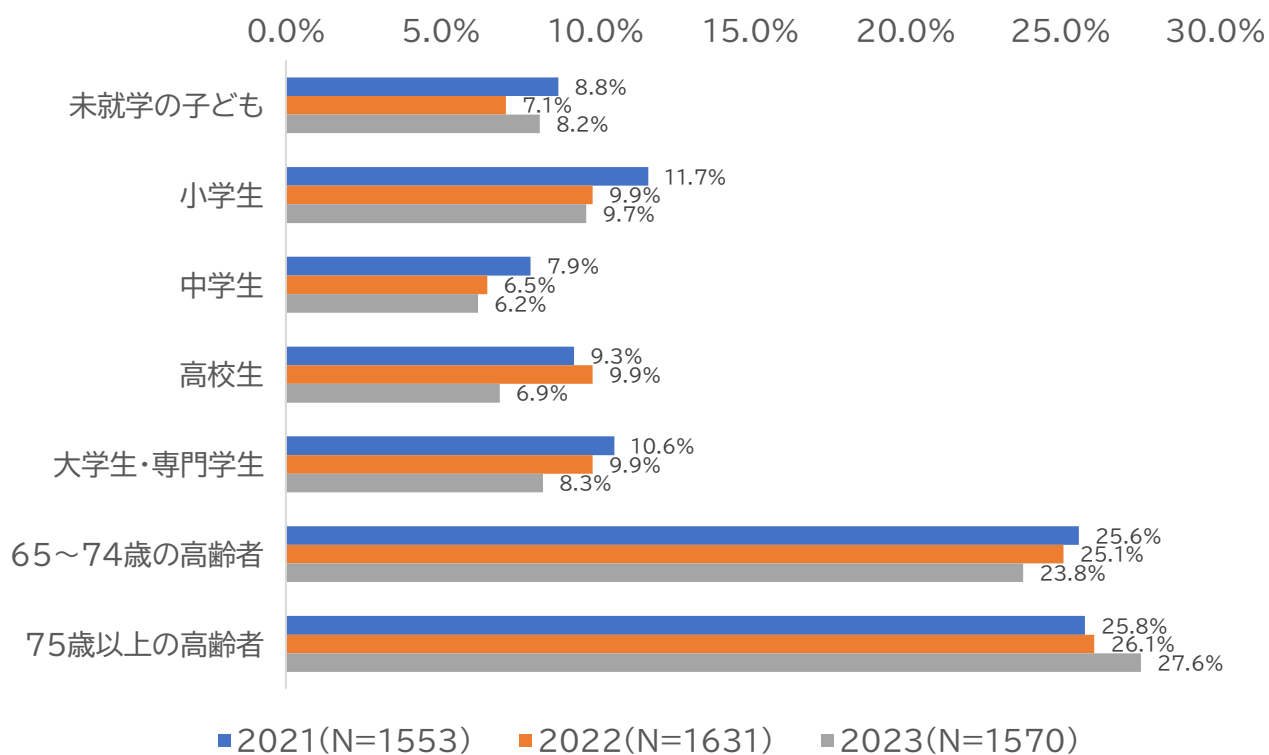
過去3か年で比較するとサンプルの偏りは誤差の範囲にとどまっています。

問5 同居の家族には、次に当てはまる方がいらっしゃいますか。(あなた自身を含め、次の中からすべてに○)

同居の家族について、「75 歳以上の高齢者」(27.6%)が最も多く、次いで「65～74 歳の高齢者」(23.8%)となっています。



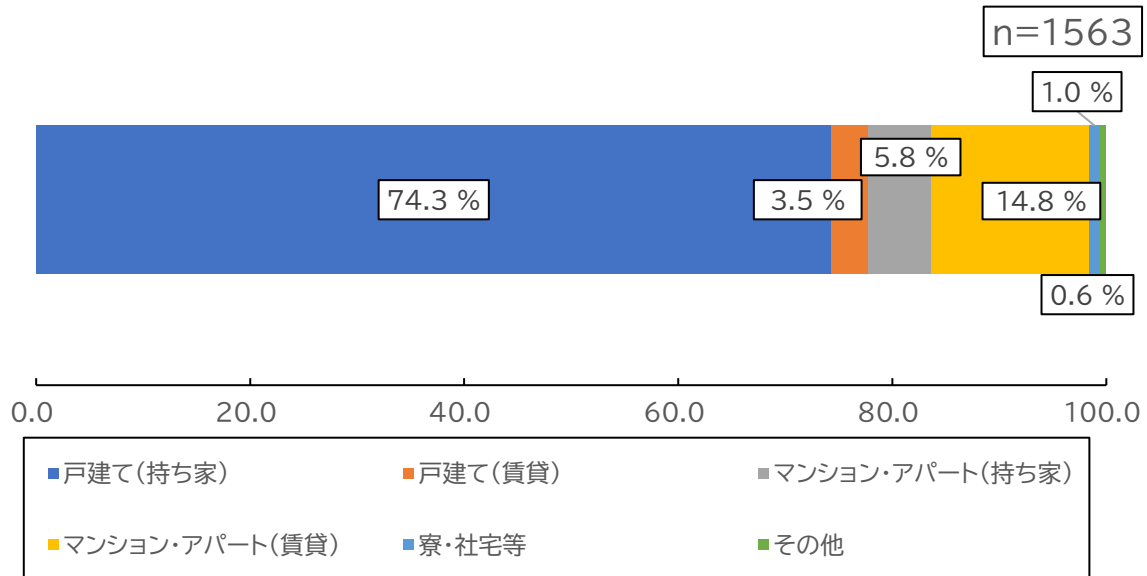
	回答数	割合
未就学の子ども	129	8.2%
小学生	152	9.7%
中学生	98	6.2%
高校生	109	6.9%
大学生・専門学生	131	8.3%
65～74 歳の高齢者	374	23.8%
75 歳以上の高齢者	433	27.6%
該当する人はいない	266	16.9%



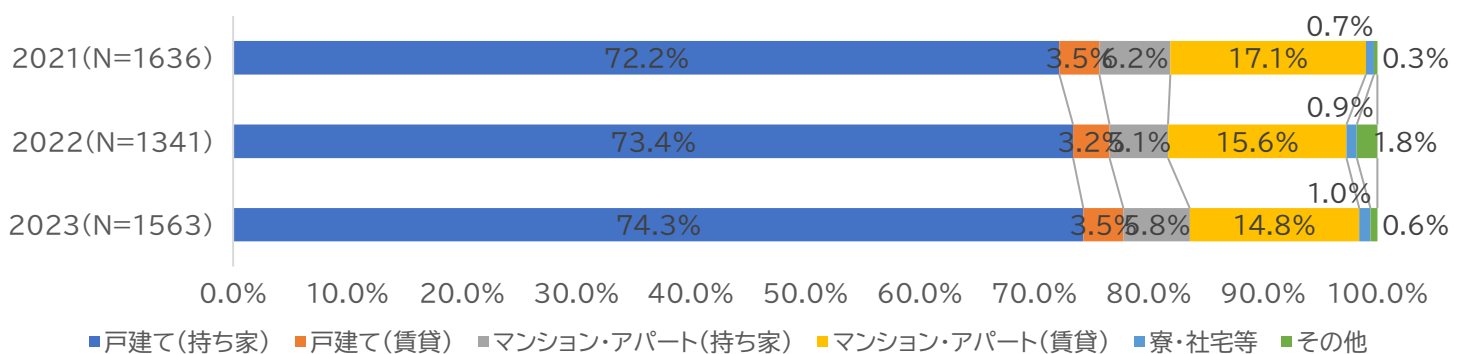
過去3か年で比較するとサンプルの偏りは誤差の範囲にとどまっています。

問6 あなたの居住形態はどれにあたりますか。(1つに○)

居住形態については、「戸建て(持ち家)」(74.3%)が最も多く、次いで「マンション・アパート(賃貸)」(14.8%)、「マンション・アパート(持ち家)」(5.8%)となっています。



	回答数	割合
戸建て(持ち家)	1162	74.3%
戸建て(賃貸)	54	3.5%
マンション・アパート(持ち家)	91	5.8%
マンション・アパート(賃貸)	231	14.8%
寮・社宅等	16	1.0%
その他	9	0.6%

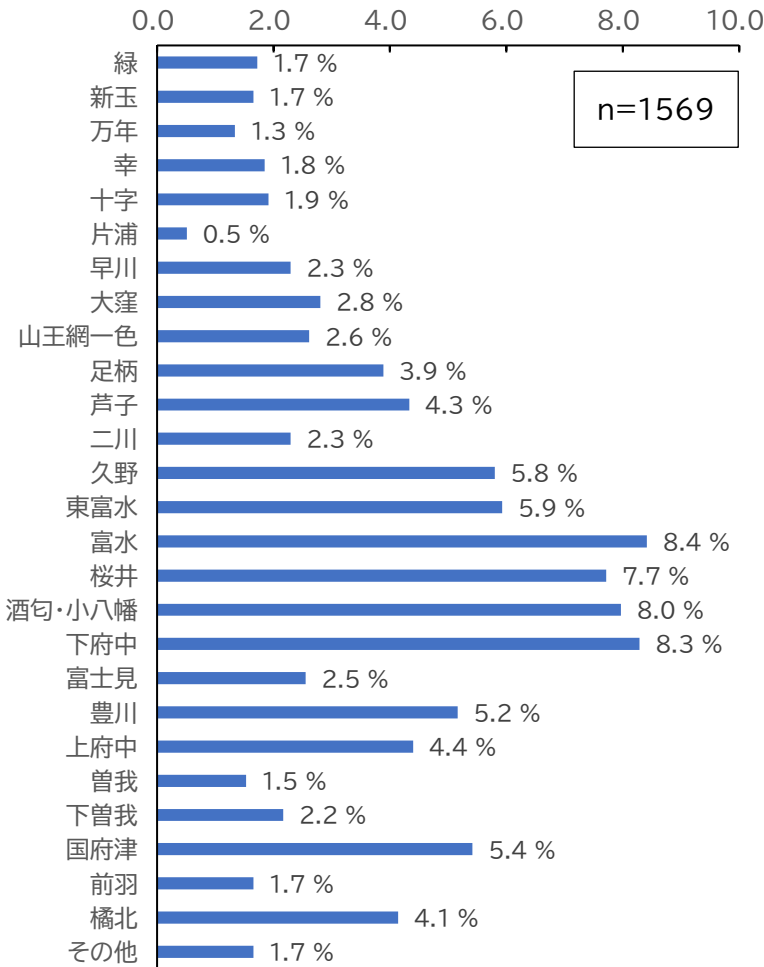


過去3か年で比較すると居住形態の違いは誤差の範囲にとどまっています。

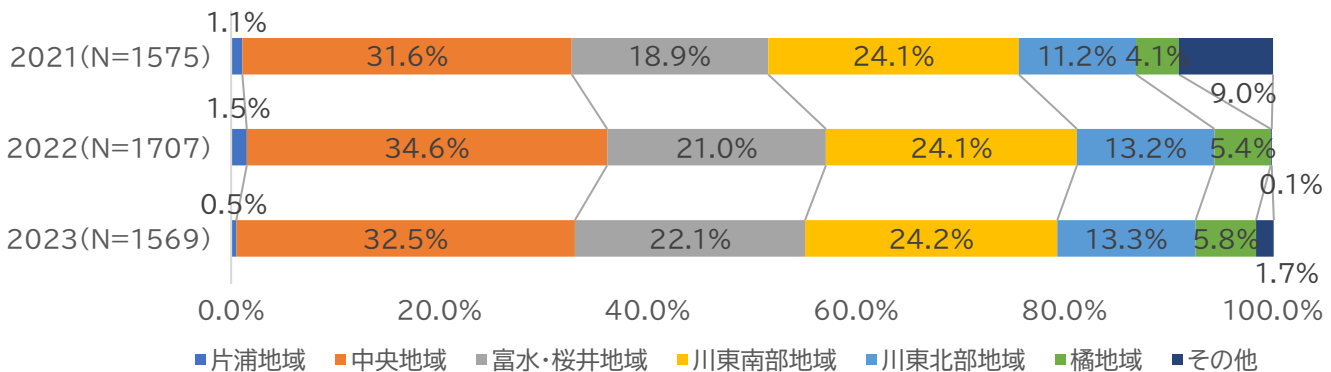
問7 あなたの住まいは、どの連合自治会区域に含まれますか。(1つに○)

連合自治会区域については、富水地区(8.4%)が最も多く、次いで下府中地区(8.3%)、酒匂・小八幡地区(8.0%)となっています。

右側の表は、小田原市都市マスタープランにおける6地域にまとめたものです。中央地域(32.5%)が最も多く、次いで川東南部地域(24.2%)となっています。



	回答数	割合
片浦地域	8	0.5%
中央地域	510	32.5%
富水・桜井地域	346	22.1%
川東南部地域	380	24.2%
川東北部地域	208	13.3%
橘地域	91	5.8%
その他	26	1.7%

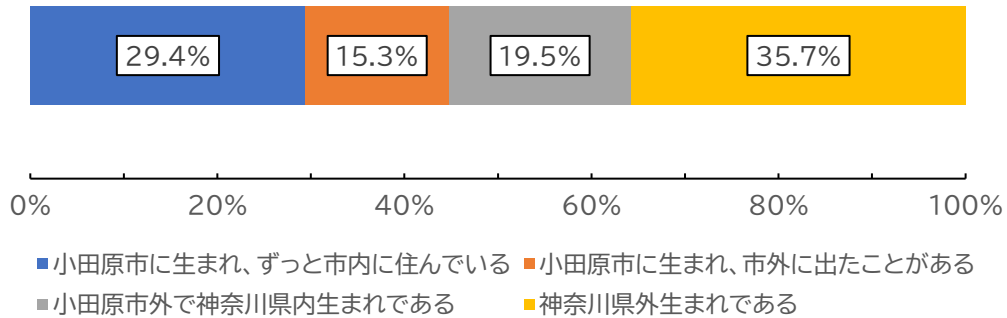


過去3年と比較すると居住地区の違いは「その他」の多寡によるものでほぼ誤差の範囲にとどまっています。

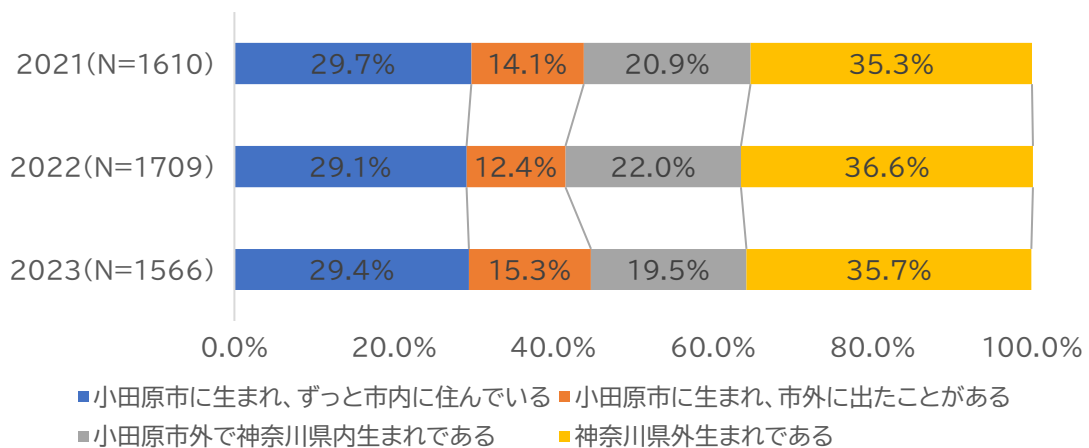
問8 あなたの居住歴をお聞きします。(1つに○)

居住歴について、「県外生まれ」(35.7%)が最も多く、次いで「ずっと小田原市内」(29.4%)、最も少ないのは、「小田原市に生まれ、市外に出たことがある」(15.3%)となっています。

n=1550



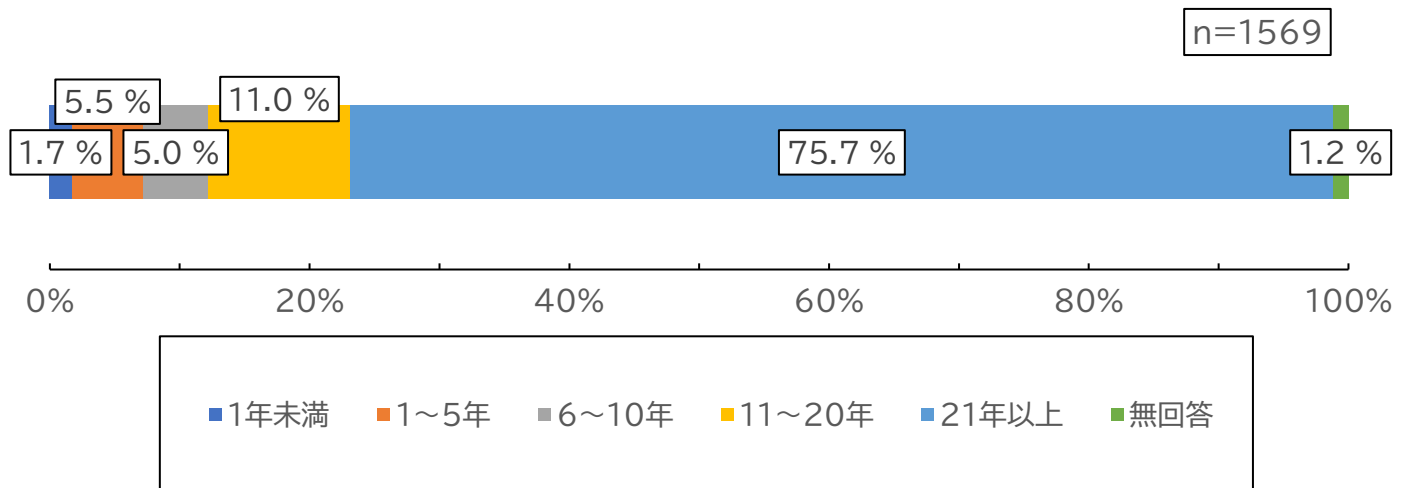
	回答数	割合
小田原市に生まれ、ずっと市内に住んでいる	456	29.4%
小田原市に生まれ、市外に出たことがある	237	15.3%
小田原市外で神奈川県内生まれである	303	19.5%
神奈川県外生まれである	554	35.7%



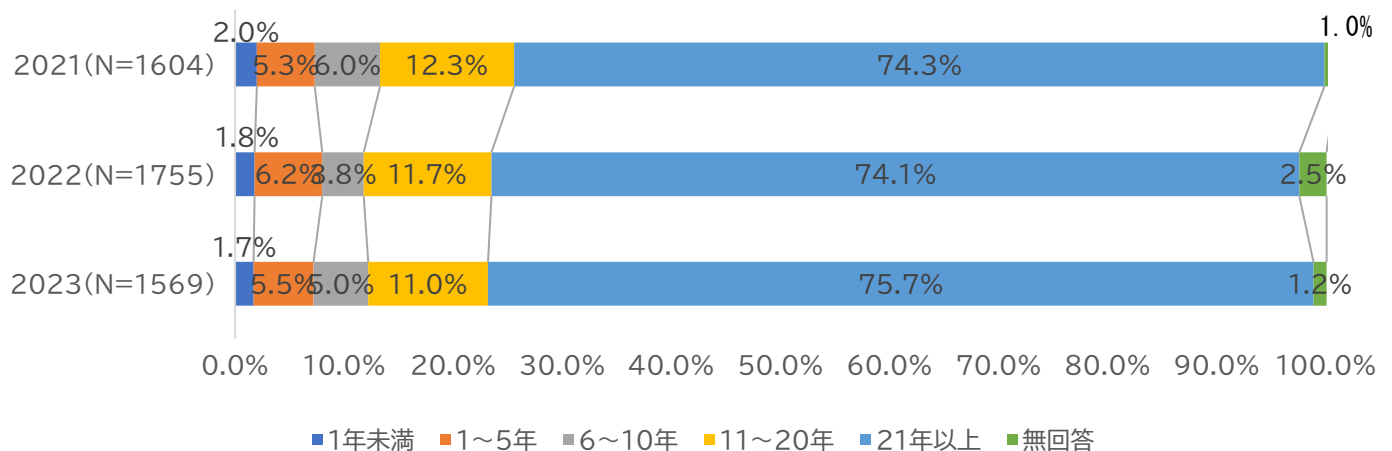
過去3か年で比較すると居住歴の違いは誤差の範囲にとどまっています。

問9 あなたは小田原市に居住して何年ですか。(1つに○)

居住年数について、「21年以上」(75.7%)と最も多く、次いで、「11～20年」(11.0%)、「1～5年」が(5.5%)、「6～10年」が(5.0%)となり、「1年未満」(1.7%)が最も少なくなっています。



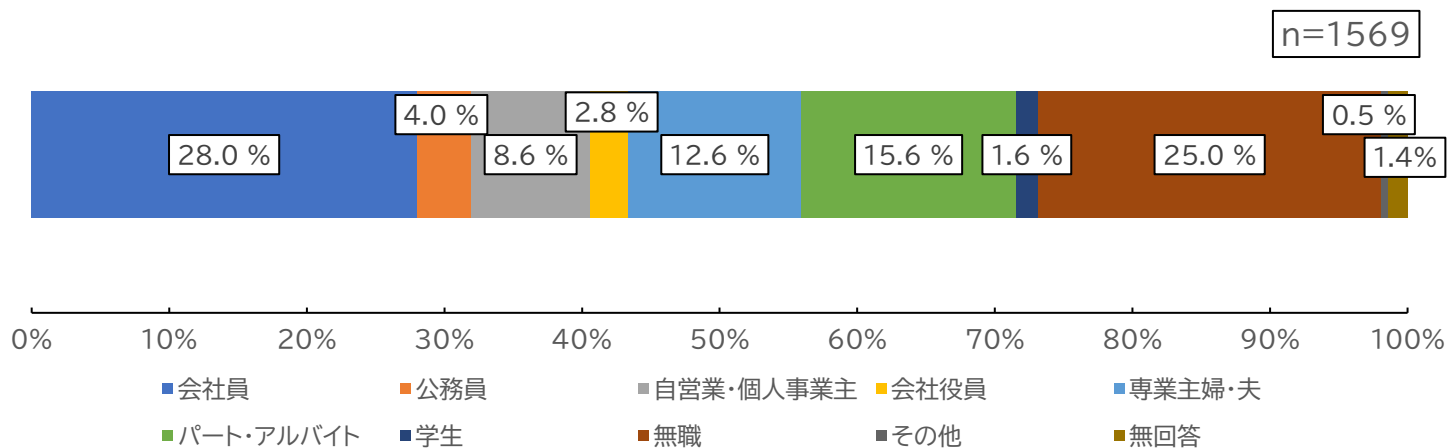
	回答数	割合
1年未満	26	1.7%
1～5年	86	5.5%
6～10年	78	5.0%
11～20年	173	11.0%
21年以上	1187	75.7%
無回答	19	1.2%



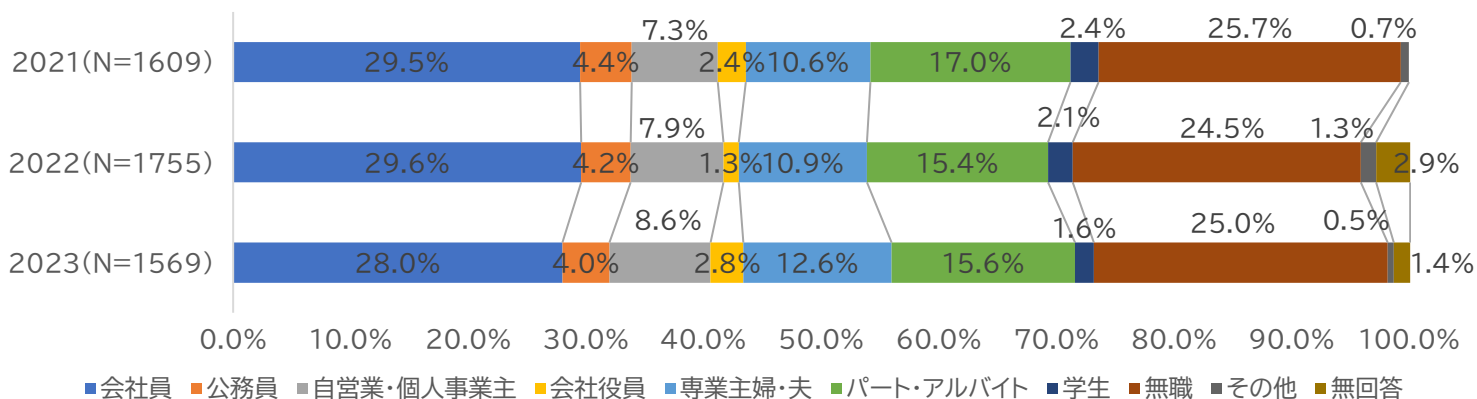
過去3年と比較すると居住年数の違いは誤差の範囲にとどまっています。

問10 あなたの主な就業状況について伺います。(1つに○)

就業状況について、「会社員」(28.0%)が最も多く、次いで「無職」(25.0%)、「パート・アルバイト」(15.6%)となっています。



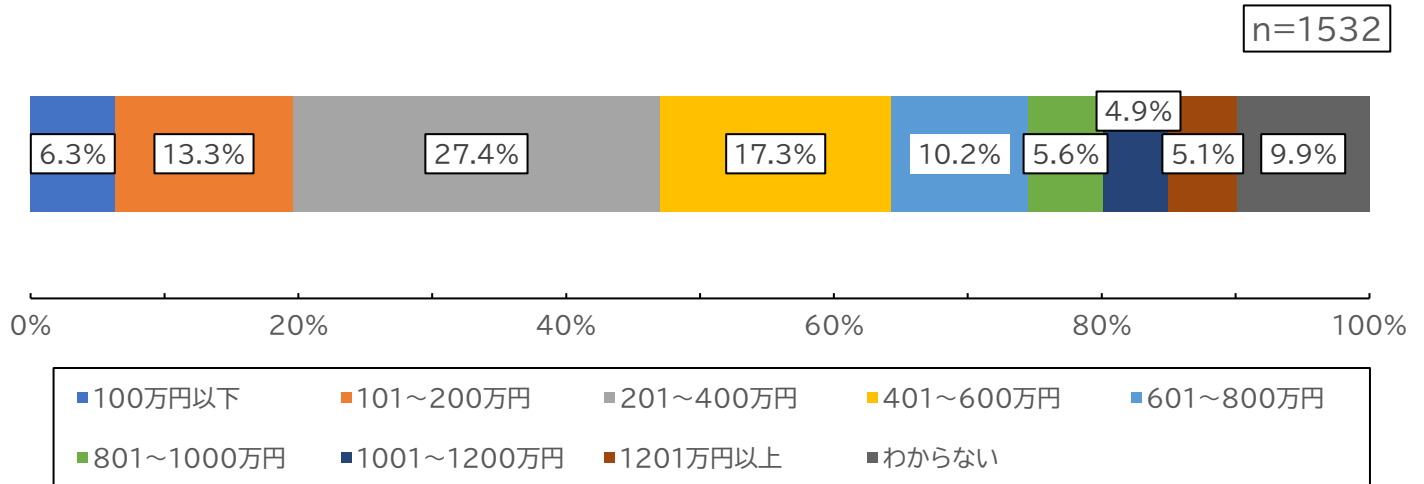
	回答数	割合
会社員	439	28.0%
公務員	63	4.0%
自営業・個人事業主	135	8.6%
会社役員	44	2.8%
専業主婦・夫	197	12.6%
パート・アルバイト	244	15.6%
学生	25	1.6%
無職	392	25.0%
その他	8	0.5%
無回答	22	1.4%



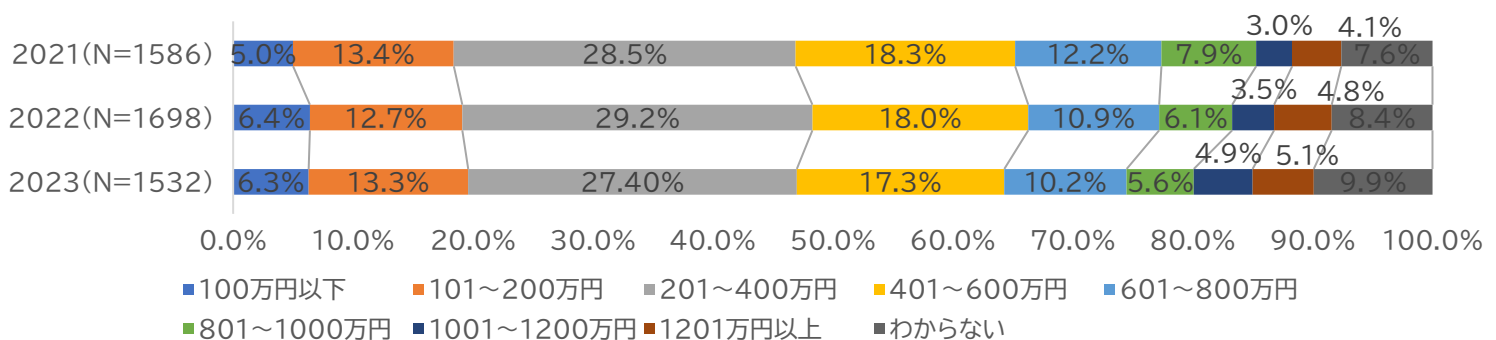
過去3年間で比較すると就業状況の違いはほぼ誤差の範囲にとどまっています。

問11 あなたの世帯収入(年金、配偶者の収入も含む)について伺います。(1つに○)

世帯年収について、「201万円～400万円」(27.4%)が最も多く、次いで「401万円～600万円」(17.3%)、「101万円～200万円」(13.3%)となっています。



	回答数	割合
100万円以下	96	6.3%
101～200万円	203	13.3%
201～400万円	420	27.4%
401～600万円	265	17.3%
601～800万円	157	10.2%
801～1000万円	86	5.6%
1001～1200万円	75	4.9%
1201万円以上	78	5.1%
わからない	152	9.9%

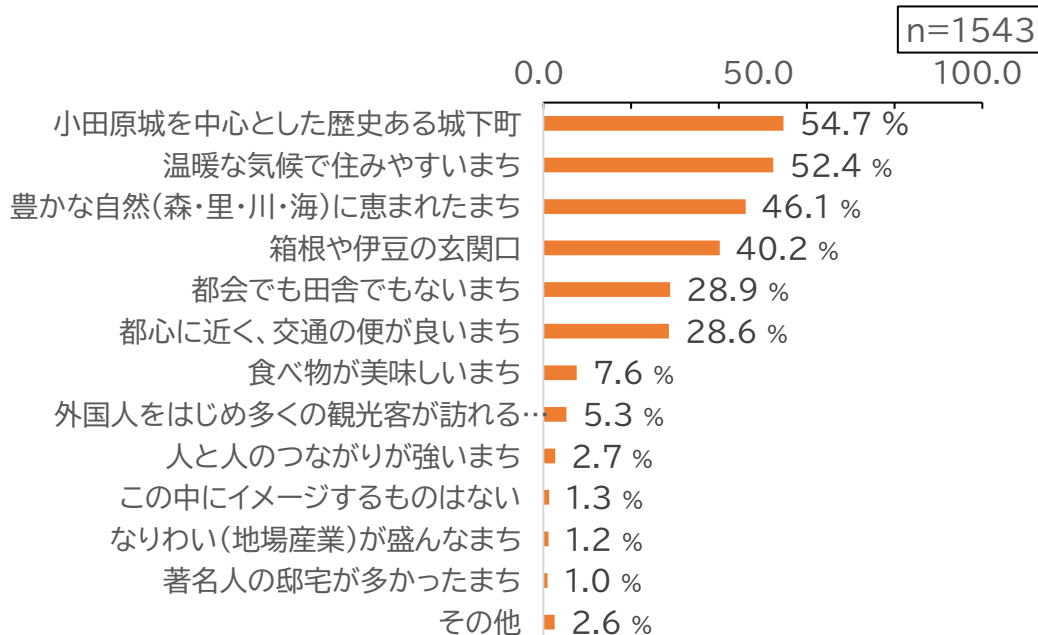


過去3か年で比較すると世帯収入の違いはほぼ誤差の範囲にとどまっています。

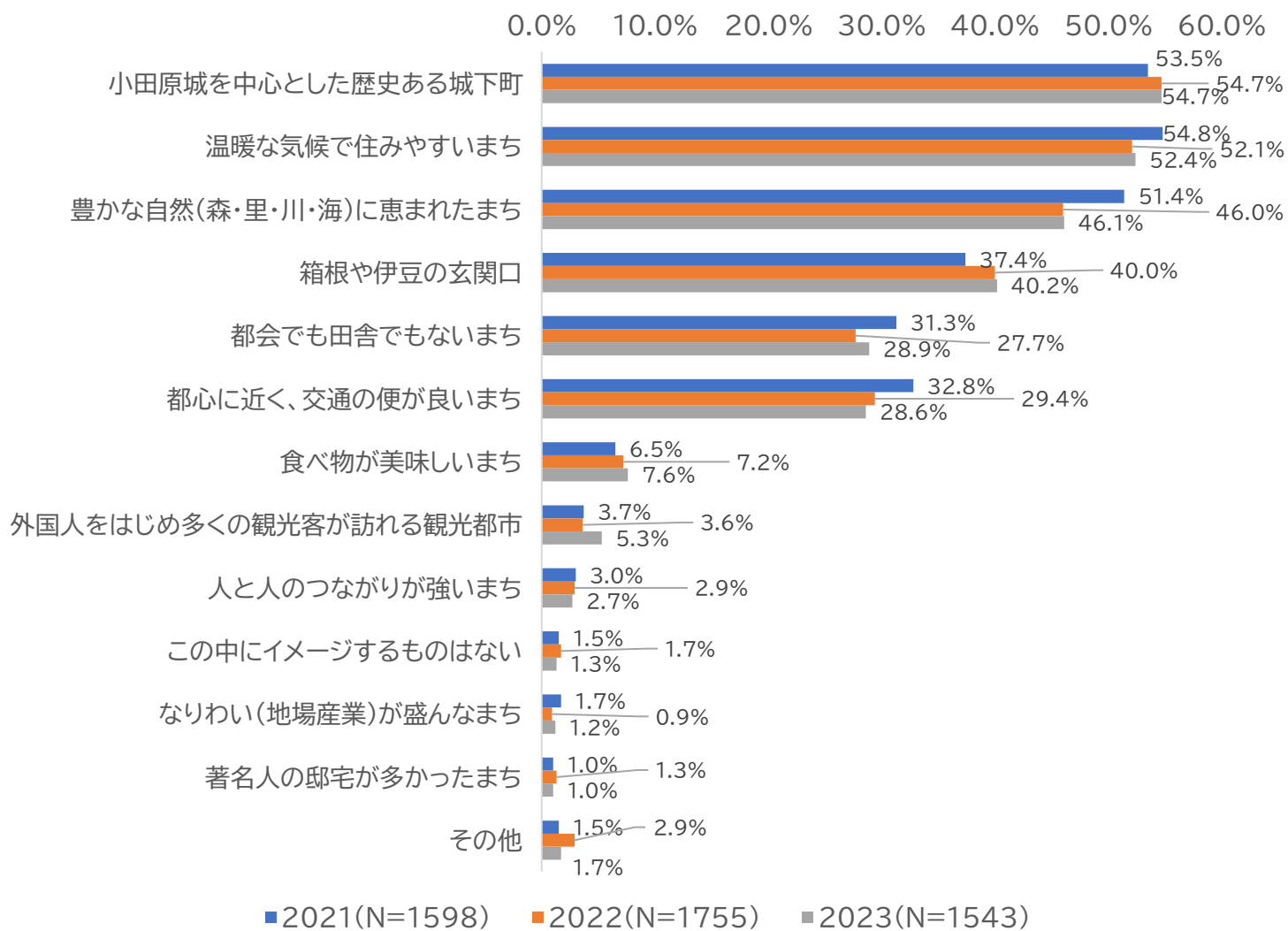
B:あなたが小田原市に対して持つイメージを教えてください

問12 小田原市に対してどんなイメージを持っていますか。(3つまでに○)

小田原市のイメージは、「小田原城を中心とした歴史ある城下町」(54.7%)、「温暖な気候で住みやすいまち」(52.4%)、「豊かな自然(森・里・川・海)に恵まれたまち」(46.1%)が多くなっています。



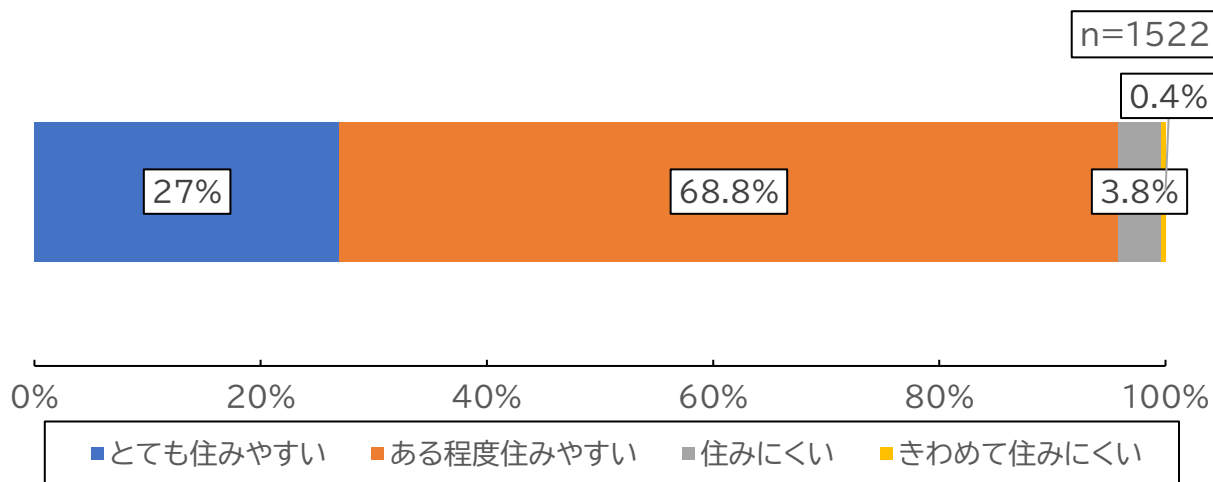
	回答数	割合
小田原城を中心とした歴史ある城下町	844	54.7%
温暖な気候で住みやすいまち	808	52.4%
豊かな自然(森・里・川・海)に恵まれたまち	711	46.1%
箱根や伊豆の玄関口	620	40.2%
都会でも田舎でもないまち	446	28.9%
都心に近く、交通の便が良いまち	442	28.6%
食べ物が美味しいまち	117	7.6%
外国人をはじめ多くの観光客が訪れる観光都市	82	5.3%
人と人のつながりが強いまち	42	2.7%
この中にイメージするものはない	20	1.3%
なりわい(地場産業)が盛んなまち	19	1.2%
著名人の邸宅が多かったまち	15	1.0%
その他	40	2.6%



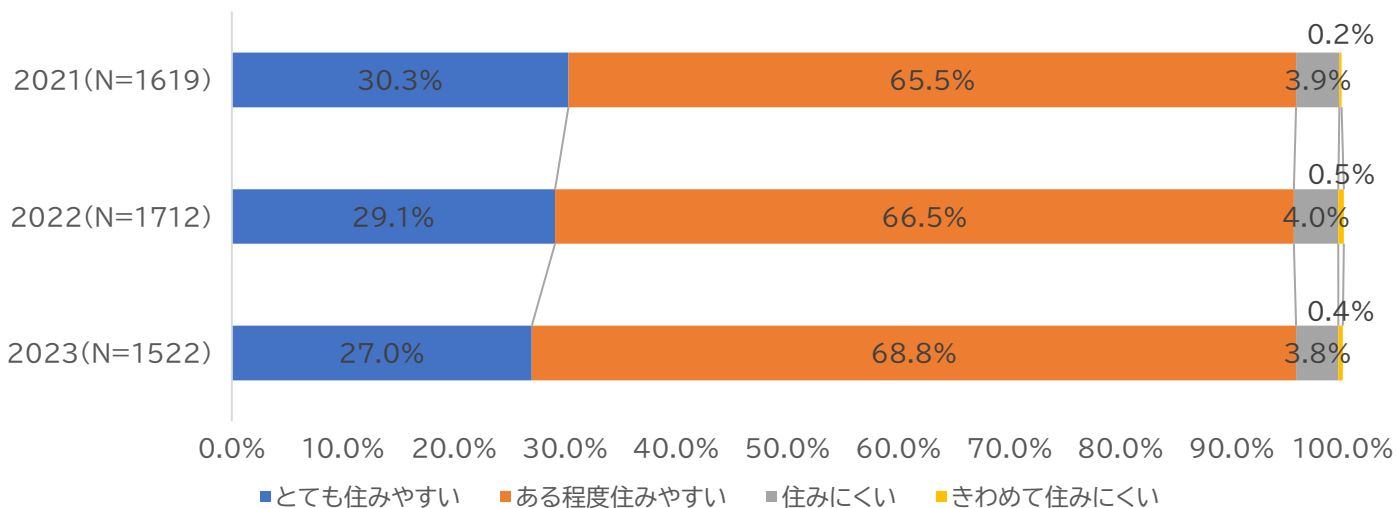
過去 3 か年で比較すると 2021 年度に比べ 2022、2023 年度では、「豊かな自然に恵まれたまち」「都心に近く、交通の便が良いまち」が誤差の範囲を超えて減ったと言えます。

問13 小田原市は、住みやすいまちですか。(1つに○)

住みやすさについて、「とても住みやすい」(27.0%)、「ある程度住みやすい」(68.8%)となり、95.8%が住みやすいと回答しています。2021年度調査と比較すると「とても住みやすい」が3.3%減っていますが、誤差の範囲と言えます。

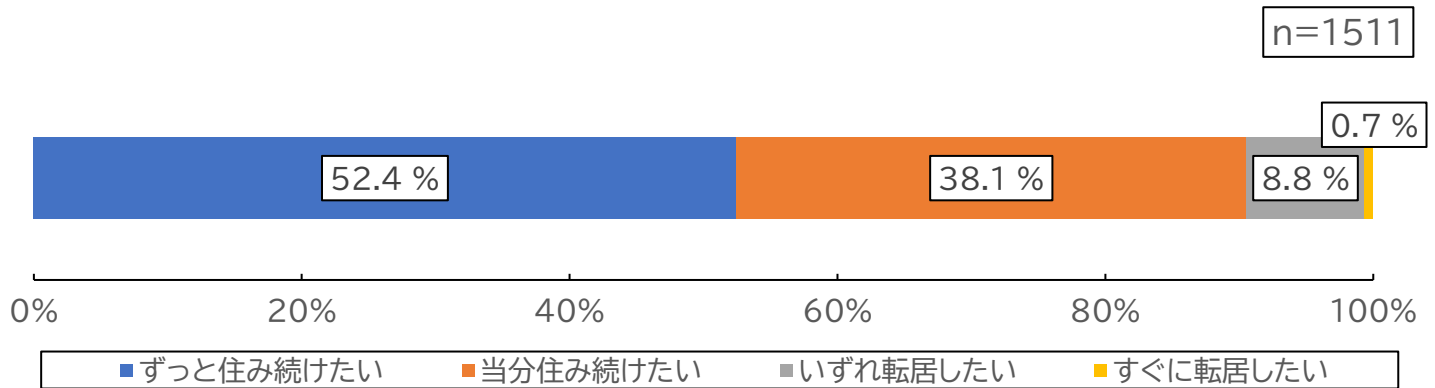


	回答数	割合
とても住みやすい	411	27.0%
ある程度住みやすい	1047	68.8%
住みにくい	58	3.8%
きわめて住みにくい	6	0.4%

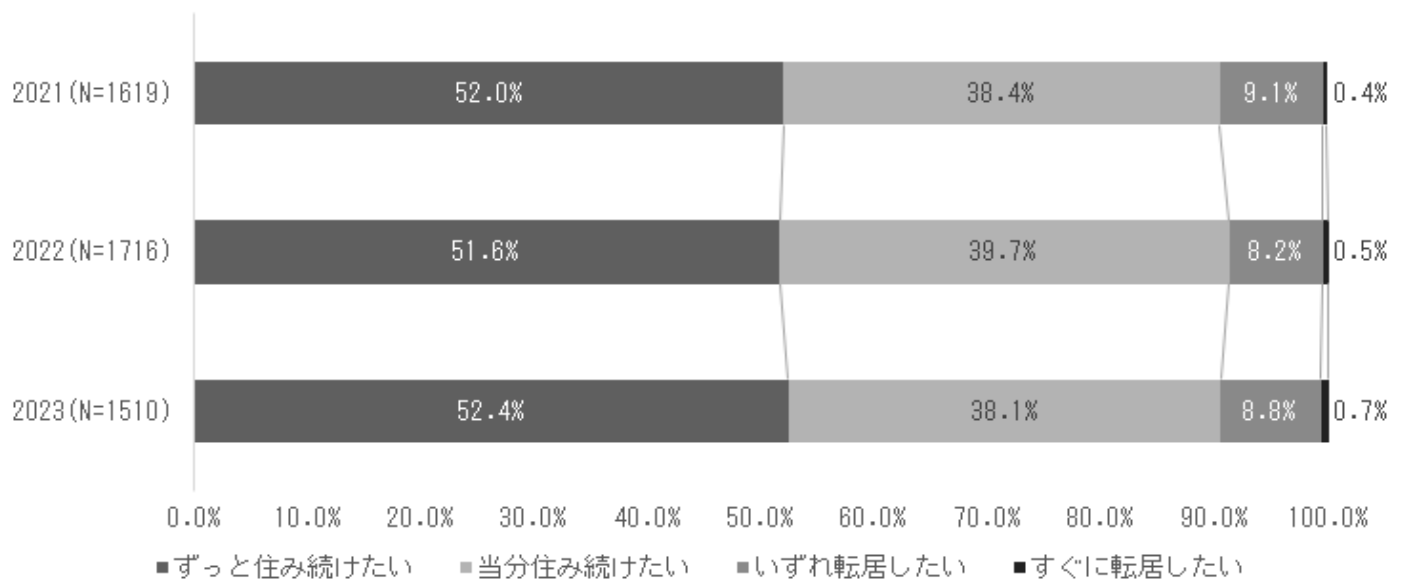


問14 今後も小田原市に住み続けたいですか。(1つに○)

今後も小田原に住み続けたいかについて、「ずっと住み続けたい」(52.4%)、「当分住み続けたい」(38.1%)となり、90.5%が住み続けたいと考えています。この数字は、2021年度は90.4%、2022年度は91.3%と高い水準で推移しています。

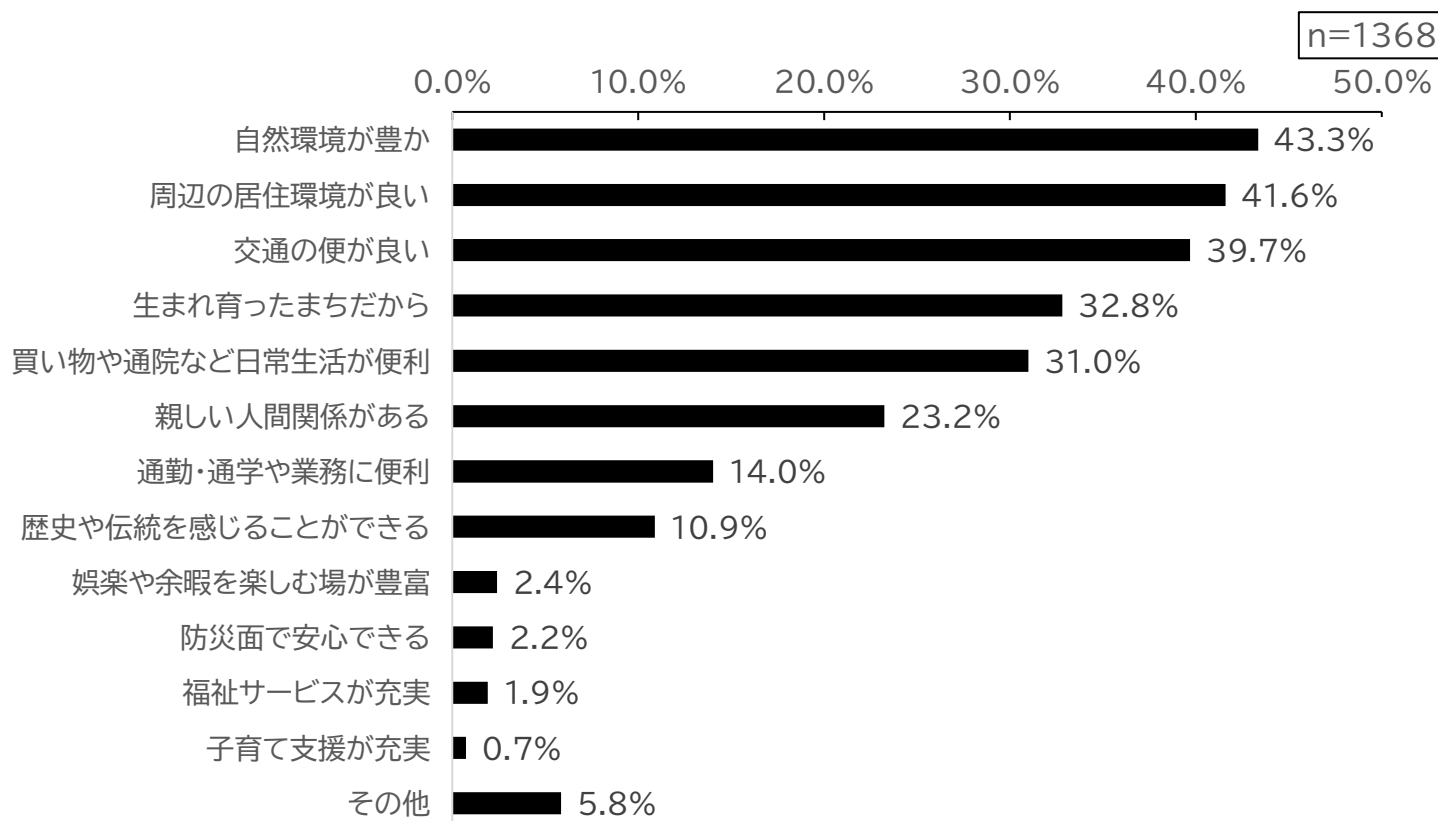


	回答数	割合
ずっと住み続けたい	792	52.4%
当分住み続けたい	576	38.1%
いずれ転居したい	133	8.8%
すぐに転居したい	10	0.7%

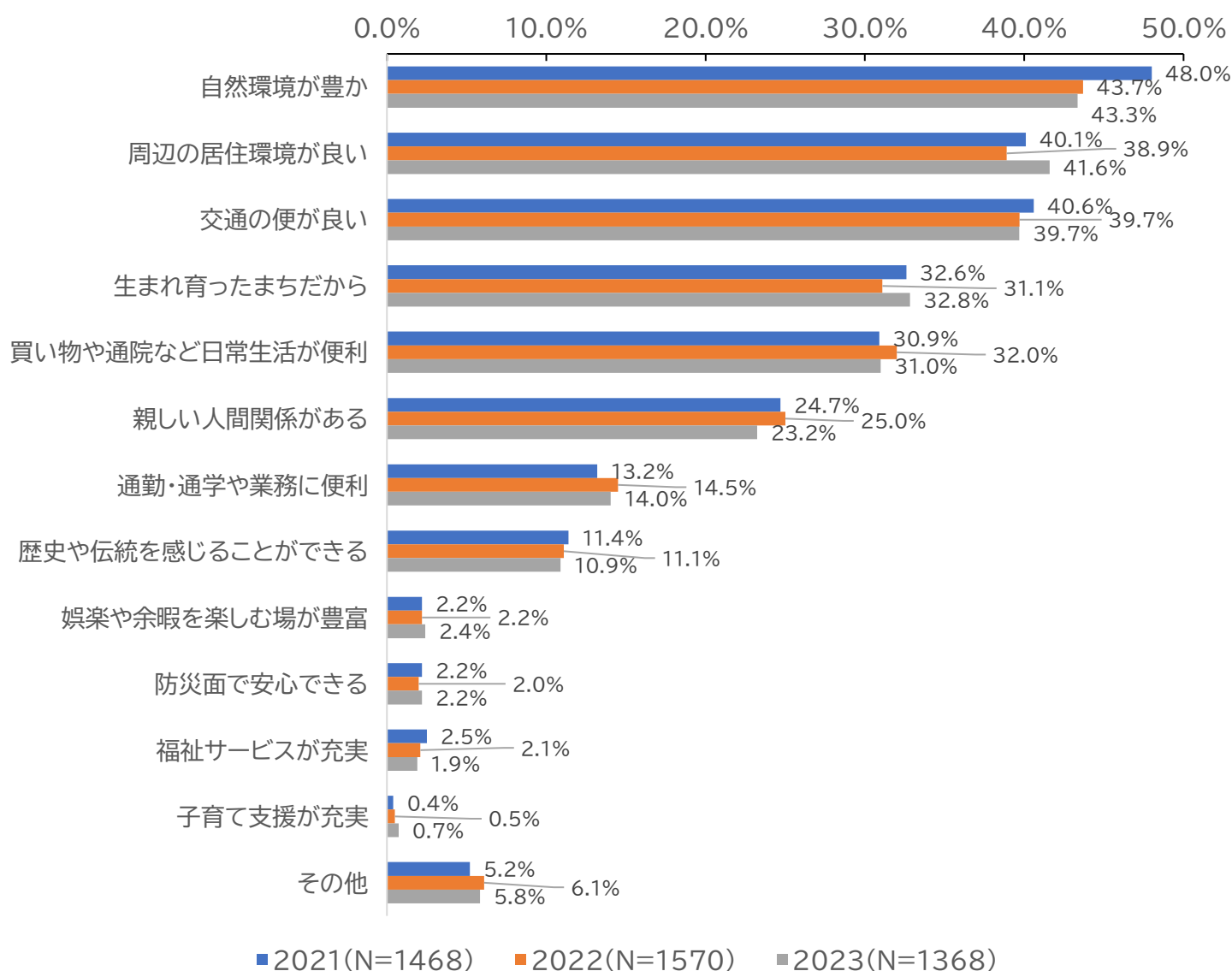


問 15-A 問 14 で、「1. ずっと住み続けたい」または「2. 当分住み続けたい」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。(3 つまでに〇)

住み続けたい理由として、「自然環境が豊か」(43.3%)、「周辺の居住環境が良い」(41.6%)、「交通の便が良い」(39.7%)となっています。



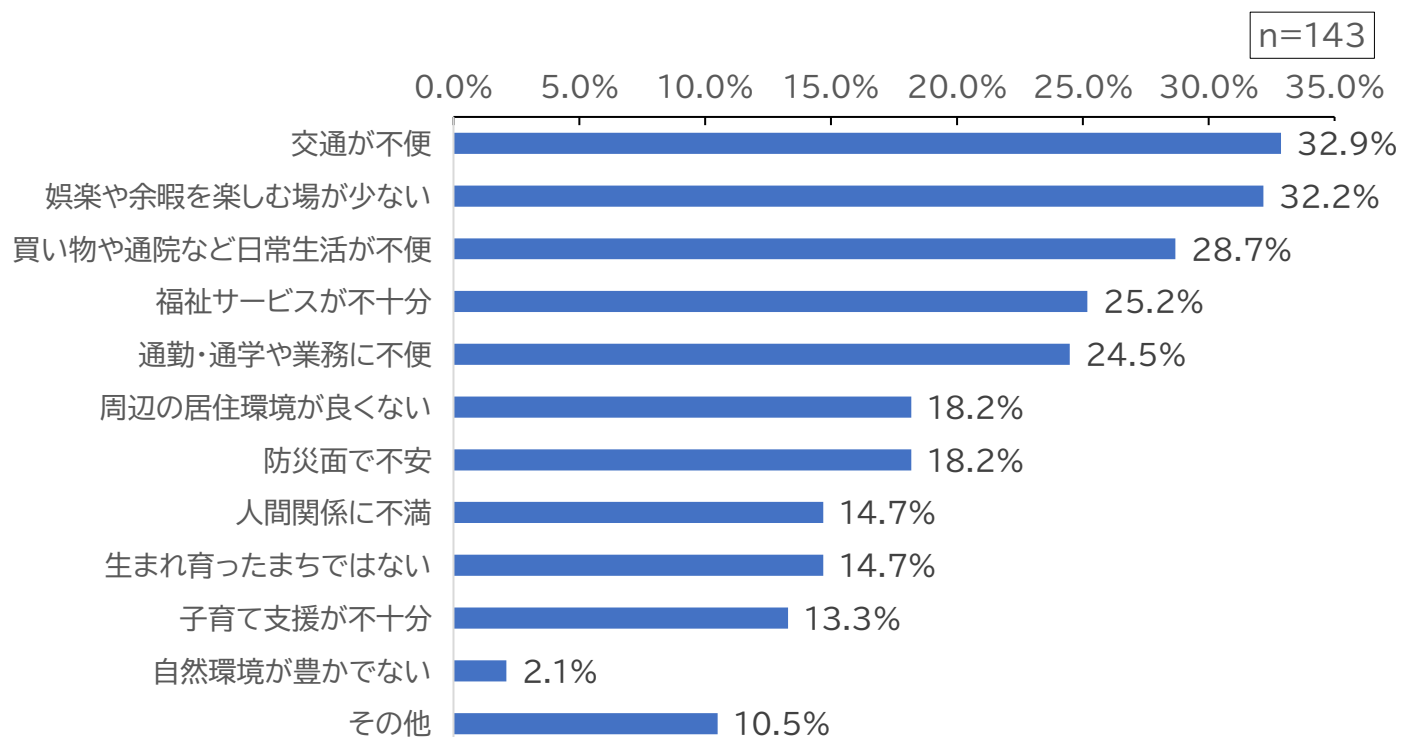
	回答数	割合
自然環境が豊か	593	43.3%
周辺の居住環境が良い	569	41.6%
交通の便が良い	543	39.7%
生まれ育ったまちだから	449	32.8%
買い物や通院など日常生活が便利	424	31.0%
親しい人間関係がある	318	23.2%
通勤・通学や業務に便利	192	14.0%
歴史や伝統を感じることができる	149	10.9%
娯楽や余暇を楽しむ場が豊富	33	2.4%
防災面で安心できる	30	2.2%
福祉サービスが充実	26	1.9%
子育て支援が充実	10	0.7%
その他	80	5.8%



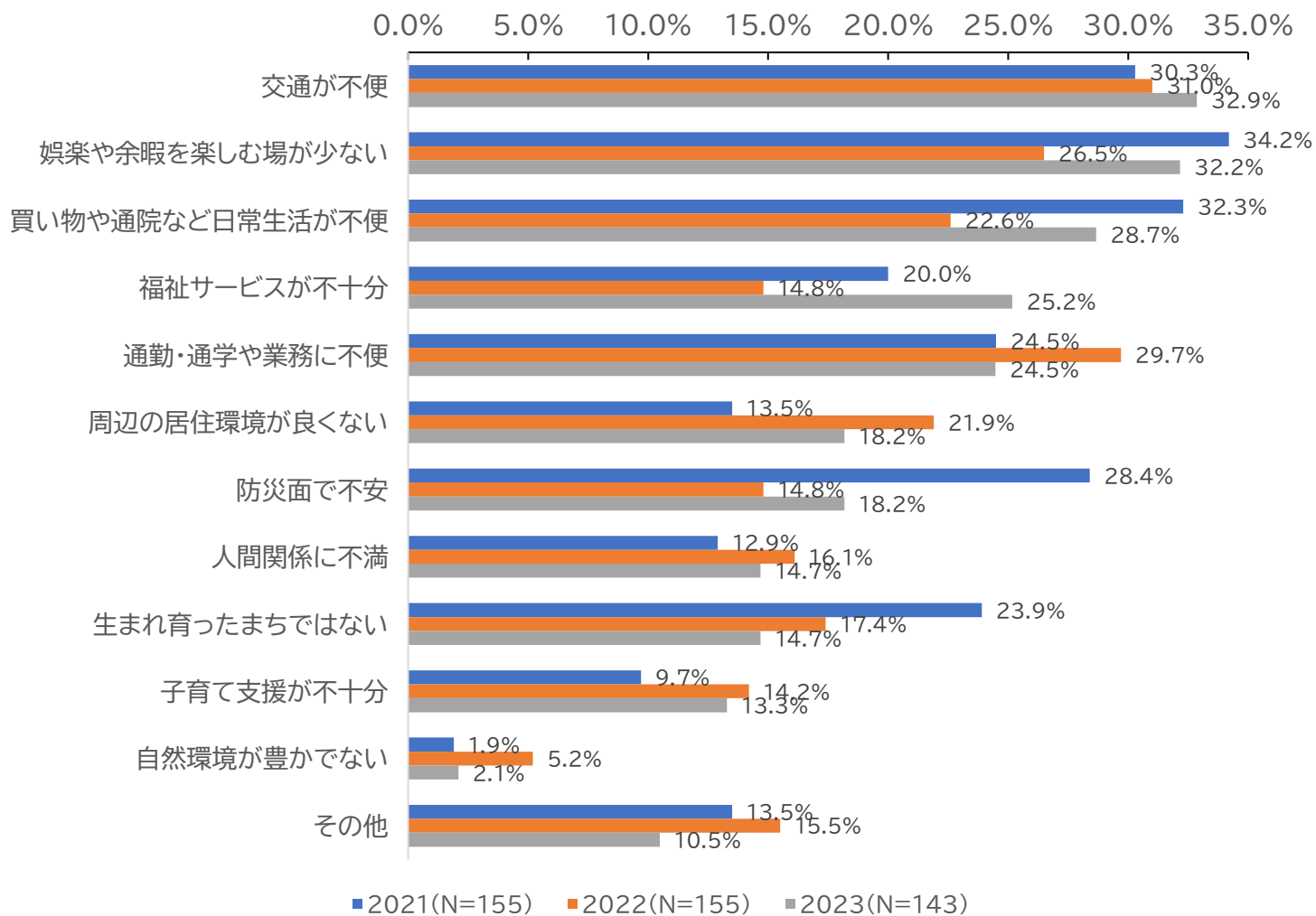
過去 3 か年で比較すると「自然環境が豊か」が 2021 年度より 2022、2023 年度の回答割合が誤差の範囲を超えて少なくなっています。

問 15-B問 14 で、「3. いずれ転居したい」または「4. すぐに転居したい」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。(3 つまでに○)

転居したい理由として、「交通が不便」(32.9%)、「娯楽や余暇を楽しむ場が少ない」(32.2%)、「買い物や通院など日常生活が不便」(28.7%)となっています。



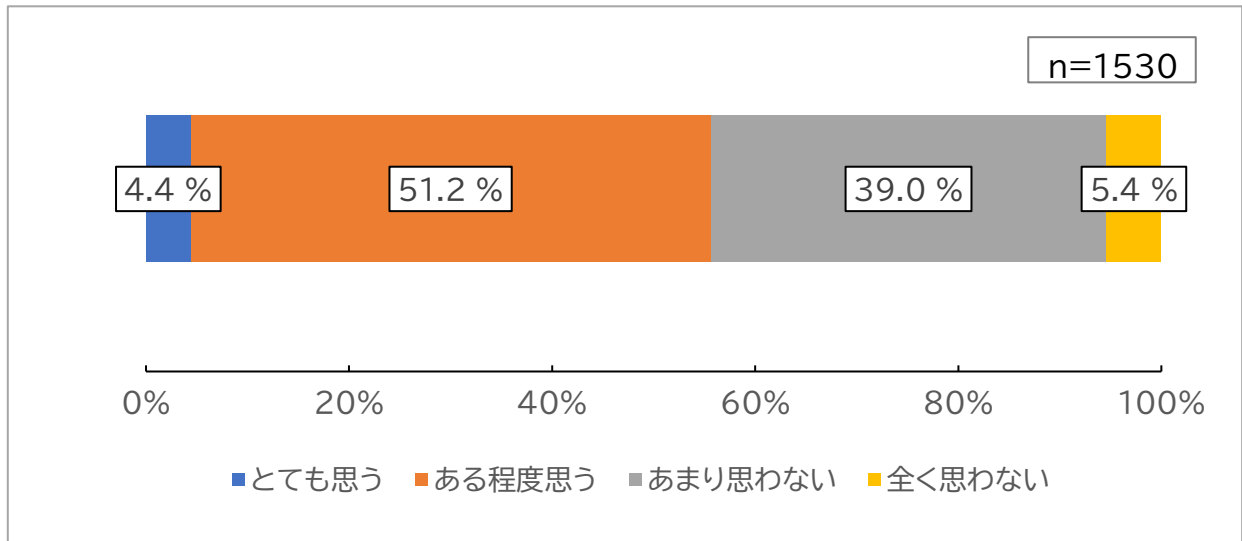
	回答数	割合
交通が不便	47	32.9%
娯楽や余暇を楽しむ場が少ない	46	32.2%
買い物や通院など日常生活が不便	41	28.7%
福祉サービスが不十分	36	25.2%
通勤・通学や業務に不便	35	24.5%
周辺の居住環境が良くない	26	18.2%
防災面で不安	26	18.2%
人間関係に不満	21	14.7%
生まれ育ったまちではない	21	14.7%
子育て支援が不十分	19	13.3%
自然環境が豊かでない	3	2.1%
その他	15	10.5%



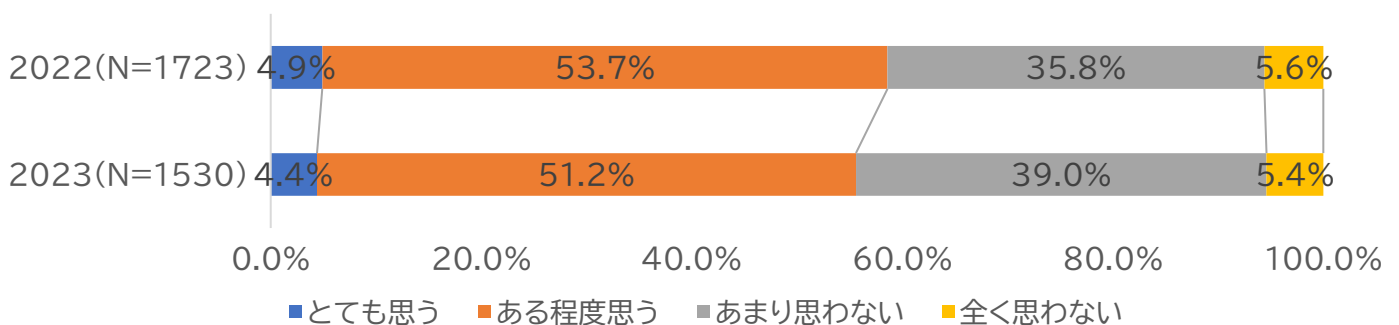
過去 3 か年で比較すると各年の違いが誤差の範囲を超えている項目があります。回答傾向が違い 2021 年度と 2023 年度を比べると、「周辺の居住環境が良くない」「子育て支援が不十分」は誤差の範囲を超えて多く、「防災面で不満」「生まれ育ったまちではない」は誤差の範囲を超えて少なくなっています。

問16 小田原市は、小田原の強みを生かしたまちづくりができていると思いますか。(1つに○)

小田原市の強みを生かしたまちづくりができているかについて、「とても思う」(4.4%)、「ある程度思う」(51.2%)、「あまり思わない」(39.0%)、「全く思わない」(5.4%)となっています。2022年度と比べると誤差の範囲を超えて「ある程度思う」が少なく「あまり思わない」が多くなっています。



	回答数	割合
とても思う	67	4.4%
ある程度思う	784	51.2%
あまり思わない	596	39.0%
全く思わない	83	5.4%

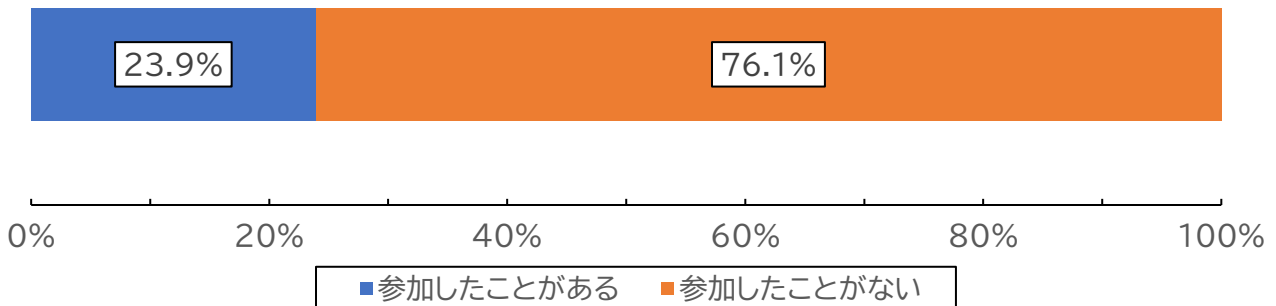


C.回答者の暮らしについて教えてください

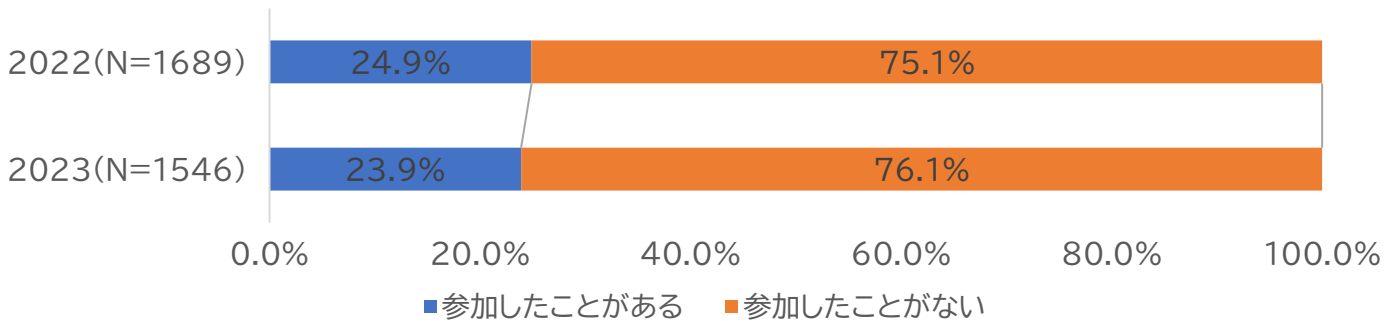
問17 あなたは、ここ5年以内で防災訓練に参加したことがありますか。(1つに○)

5年以内での防災訓練の参加について、「参加したことがある」(23.9%)、「参加したことがない」(76.1%)となっています。2022年度と比べると、違いは誤差の範囲にとどまっています。

n=1546

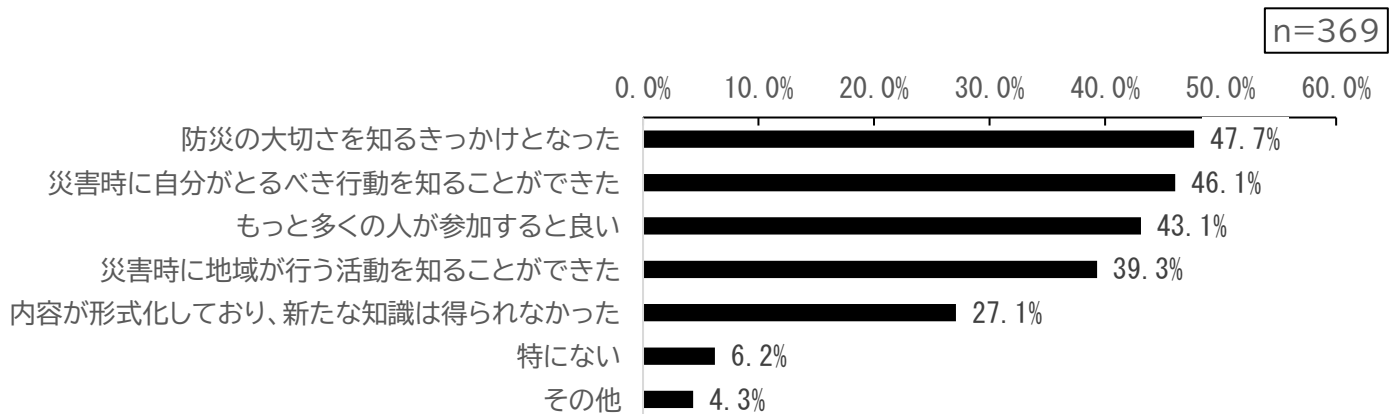


	回答数	割合
参加したことがある	369	23.9%
参加したことがない	1177	76.1%

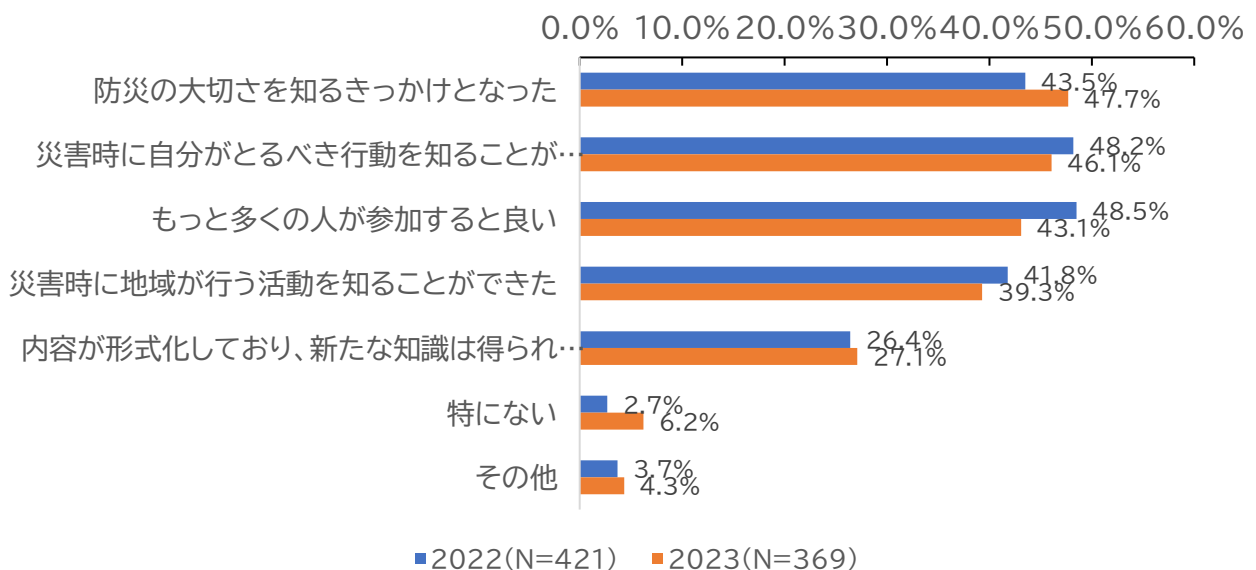


問18 -A 問 17 で、「1. 参加したことがある」を選んだ方に伺います。防災訓練に参加したことでどのようなことを感じましたか。(3 つまでに○)

防災訓練に参加した際に感じたことについて、「防災の大切さを知るきっかけとなった」(47.7%)が最も多く、次いで「災害時に自分のとるべき行動を知ることができた」(46.1%)、「もっと多くの人が参加すると良い」(43.1%)、「災害時に地域が行う活動を知ることができた」(39.3%)などとなっています。2022 年と比べると「もっと多くの人が参加すると良い」の回答割合が誤差の範囲を超えて少なくなっているほかは大きな違いはありません。

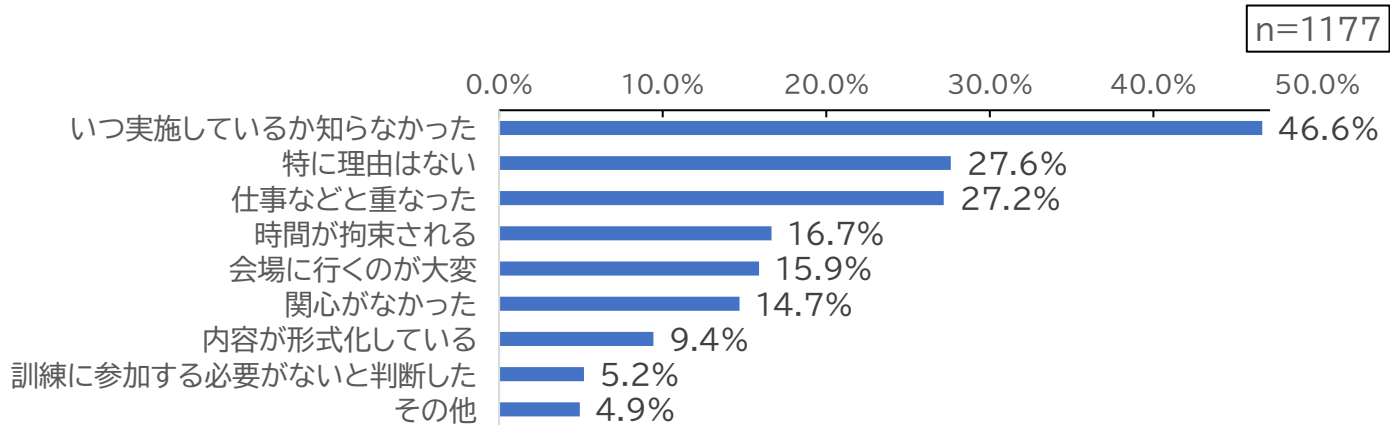


	回答数	割合
防災の大切さを知るきっかけとなった	176	47.7%
災害時に自分がとるべき行動を知ることができた	170	46.1%
もっと多くの人が参加すると良い	159	43.1%
災害時に地域が行う活動を知ることができた	145	39.3%
内容が形式化しており、新たな知識は得られなかった	100	27.1%
特にない	23	6.2%
その他	16	4.3%

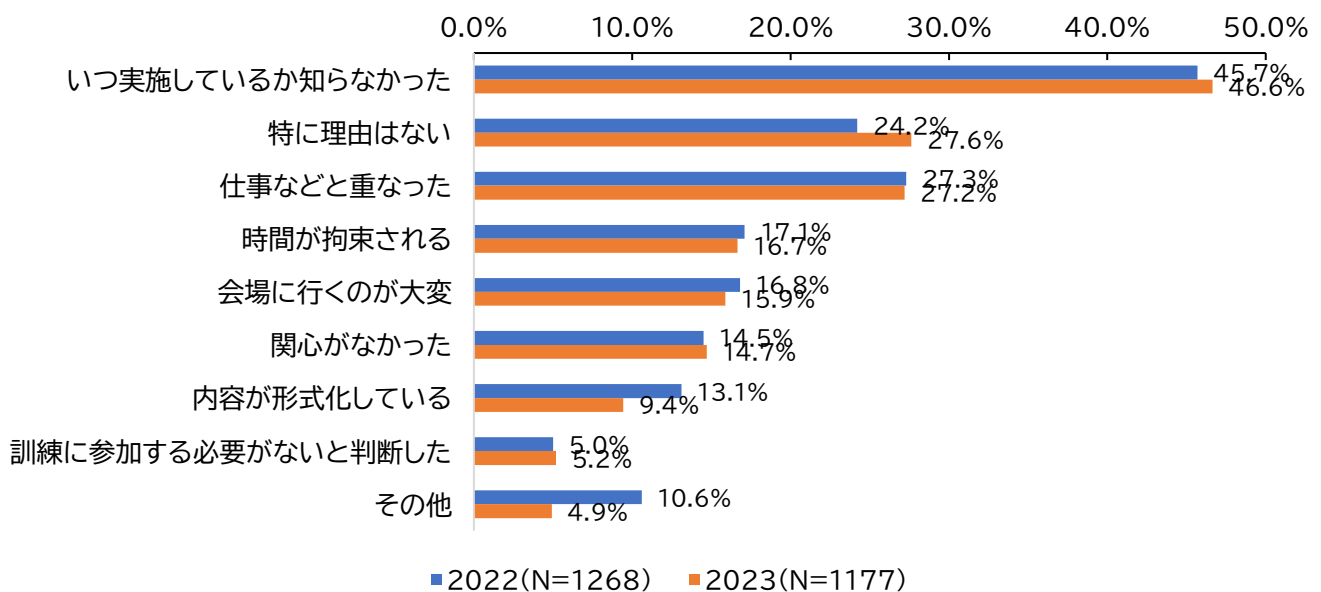


問 18-B 問 17 で、「2. 参加したことがない」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。(3 つまでに○)

防災訓練に参加しない理由として、「いつ実施しているのかわからなかった」(46.6%)が最も多く、次いで「特に理由はない」(27.6%)となっています。2022 年度と比べると「特に理由はない」の回答割合が誤差の範囲を超えて多いほかは大きな違いはありません。

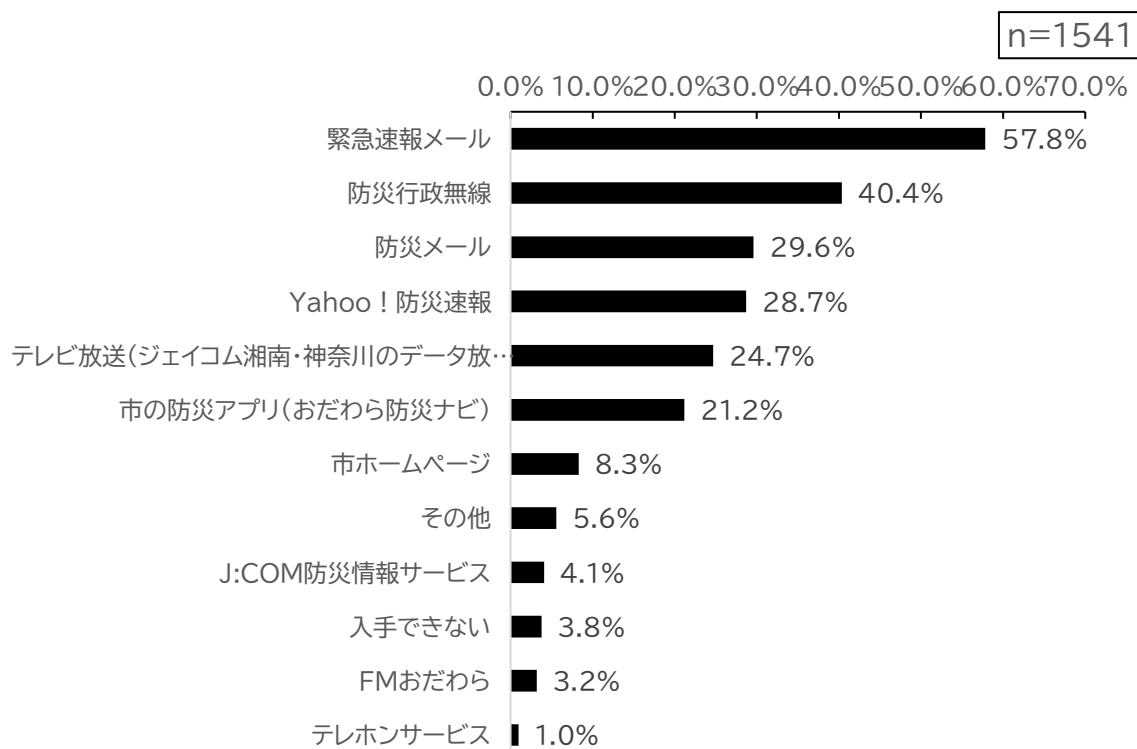


	回答数	割合
いつ実施しているかわからなかった	549	46.6%
特に理由はない	325	27.6%
仕事などと重なった	320	27.2%
時間が拘束される	196	16.7%
会場に行くのが大変	187	15.9%
関心がなかった	173	14.7%
内容が形式化している	111	9.4%
訓練に参加する必要があると判断した	61	5.2%
その他	58	4.9%



問19 あなたは、災害時の情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに○)

災害時の情報の入手手段について、「緊急速報メール」(57.8%)が最も多く、次いで「防災行政無線」(40.4%)、「防災メール」(29.6%)となっています。



	回答数	割合
緊急速報メール	891	57.8%
防災行政無線	622	40.4%
防災メール	456	29.6%
Yahoo! 防災速報	442	28.7%
テレビ放送(ジェイコム湘南・神奈川のデータ放送)	380	24.7%
市の防災アプリ(おだわら防災ナビ)	326	21.2%
市ホームページ	128	8.3%
その他	86	5.6%
J:COM 防災情報サービス	63	4.1%
入手できない	58	3.8%
FM おだわら	49	3.2%
テレホンサービス	15	1.0%

問20 あなたは、お住まいの地区のハザードマップを持っていますか。(1つに○)

ハザードマップを持っているかについて、「自宅に置いてあり、内容も確認している」(47.6%)が最も多く、次いで「自宅には置いてあるが、内容は確認していない」(28.3%)、「ハザードマップを見たことがない」(14.4%)となっています。

n=1543



0% 20% 40% 60% 80% 100%

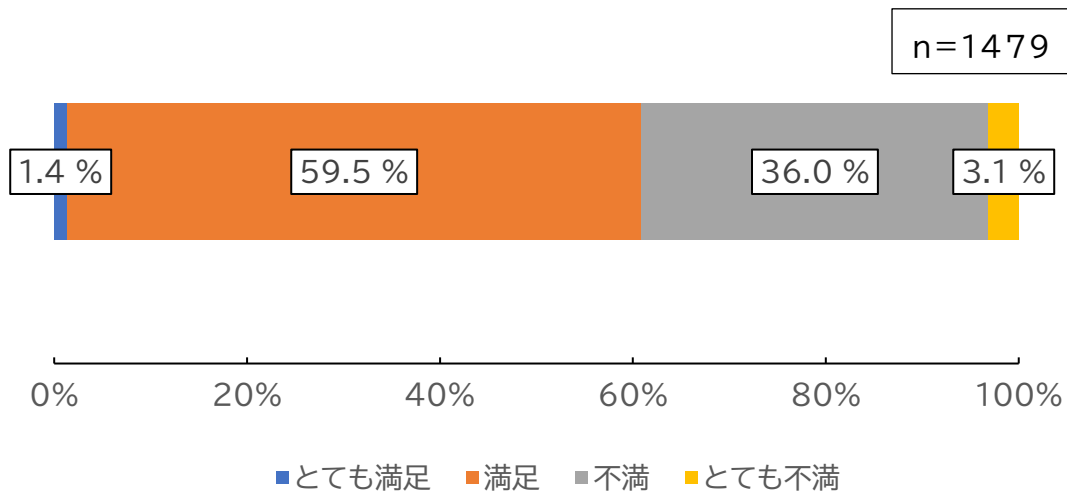
■自宅に置いてあり、内容も確認している。 ■自宅には置いてあるが、内容は確認していない。

■自宅には置いていないが、防災アプリ等で確認している。 ■ハザードマップを見たことがない。

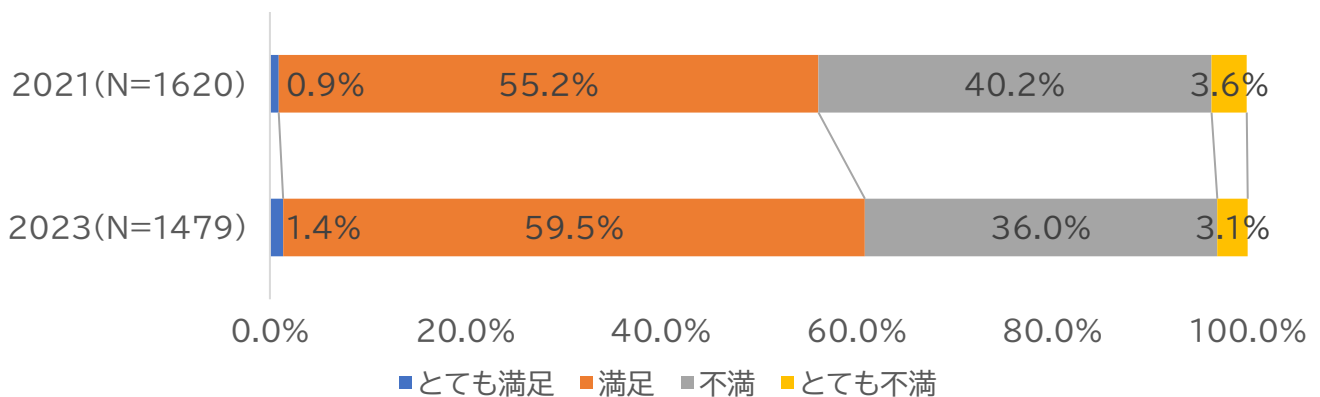
	回答数	割合
自宅に置いてあり、内容も確認している。	735	47.6%
自宅には置いてあるが、内容は確認していない。	437	28.3%
自宅には置いていないが、防災アプリ等で確認している。	149	9.7%
ハザードマップを見たことがない。	222	14.4%

問21 小田原市が実施する、防災対策の取組に対する満足度を教えてください。(1つに〇)

防災対策の取組への満足度は「満足」(59.5%)が最も多く、次いで「不満」(36.0%)、「とても不満」(3.1%)となっています。2022年度と比べると、誤差の範囲を超えて、「満足」が多く「不満」が少なくなっています。

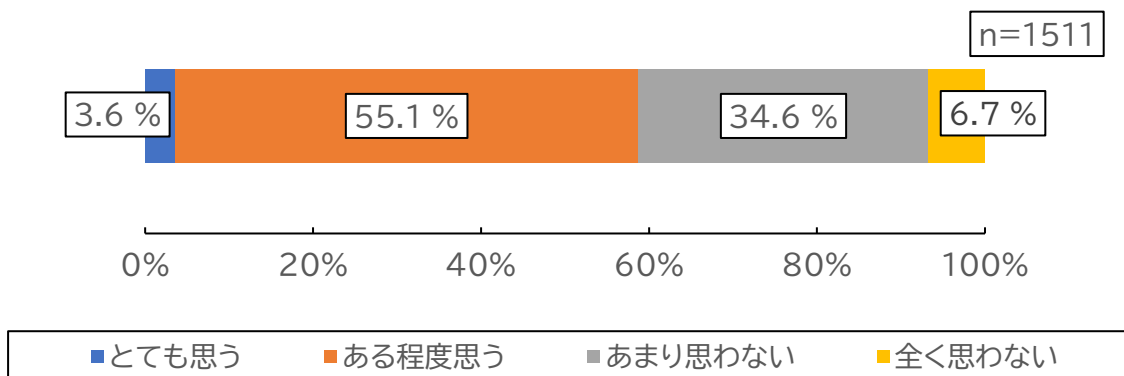


	回答数	割合
とても満足	20	1.4%
満足	880	59.5%
不満	533	36.0%
とても不満	46	3.1%

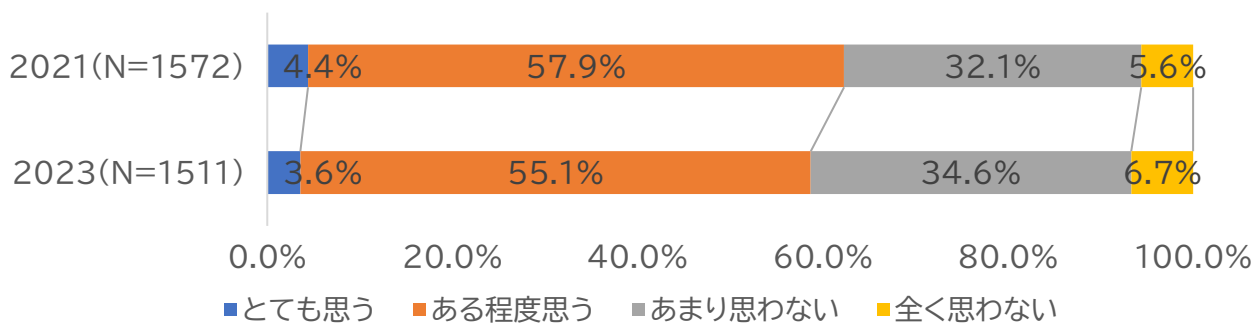


問 22 あなたは、24 時間 365 日安心して医療が受けられる体制が整っていると思いますか。
(1 つに○)

24 時間 365 日安心して医療が受けられる体制が整っているかについて、「とても思う」が 3.6%、「ある程度思う」が 55.1%と、58.7%が「整っている」と感じています。2021 年度に比べその数字は 62.3%から 3.6 ポイント減少しており、やや誤差の範囲を超えています。

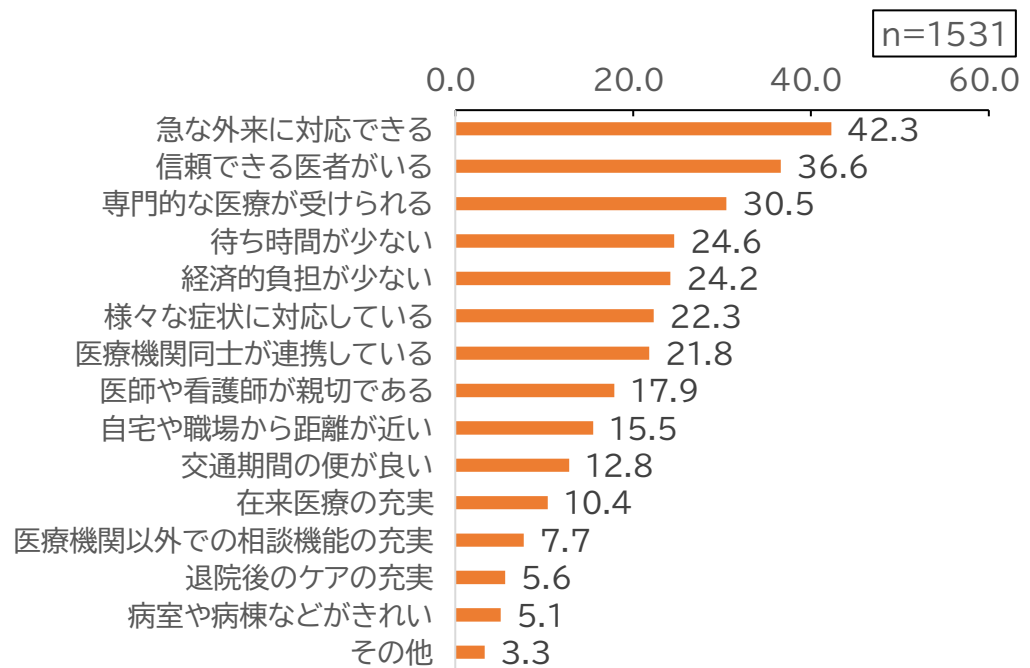


	回答数	割合
とても思う	54	3.6%
ある程度思う	833	55.1%
あまり思わない	523	34.6%
全く思わない	101	6.7%

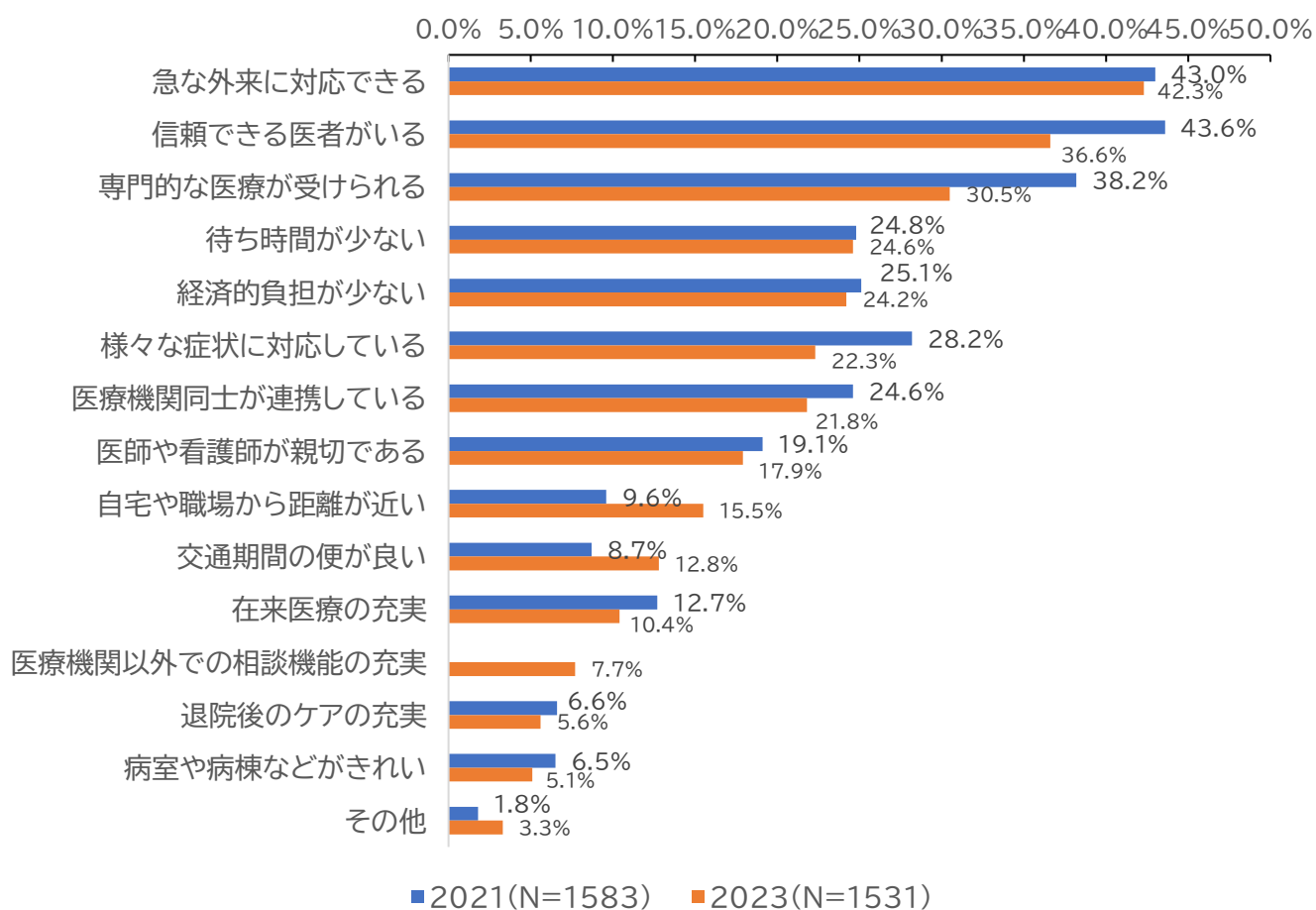


問 23 どういったことが充実すれば、小田原市の医療にもっと安心できるようになりますか。(3つまでに○)

どういったことが充実すれば、小田原市の医療にもっと安心できるかについて、「急な外来に対応できる」が 42.3%で最も多く、次いで「信頼できる医者がある」(36.6%)、「専門的な医療が受けられる」(30.5%)となっています。



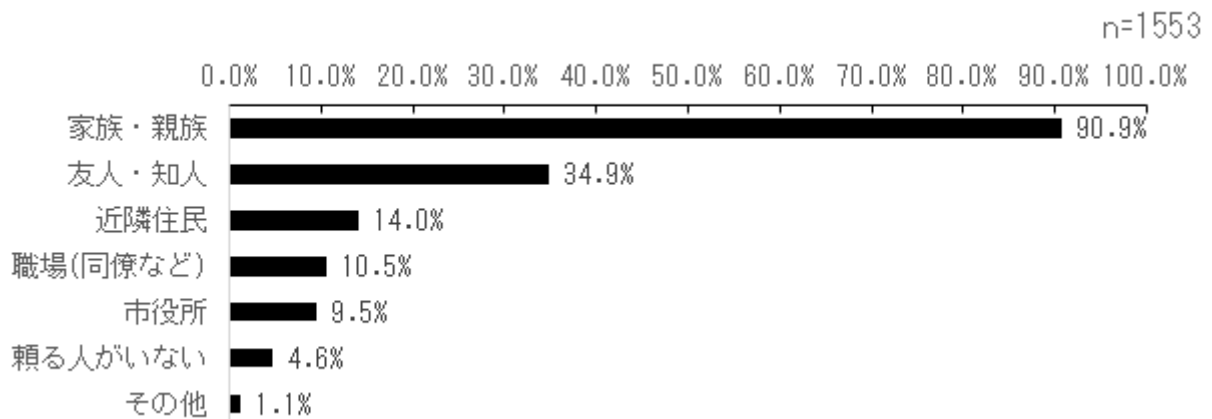
	回答数	割合
急な外来に対応できる	648	42.3%
信頼できる医者がある	561	36.6%
専門的な医療が受けられる	467	30.5%
待ち時間が少ない	376	24.6%
経済的負担が少ない	370	24.2%
様々な症状に対応している	341	22.3%
医療機関同士が連携している	334	21.8%
医師や看護師が親切である	274	17.9%
自宅や職場から距離が近い	237	15.5%
交通期間の便が良い	196	12.8%
在来医療の充実	159	10.4%
医療機関以外での相談機能の充実	118	7.7%
退院後のケアの充実	86	5.6%
病室や病棟などがきれい	78	5.1%
その他	51	3.3%



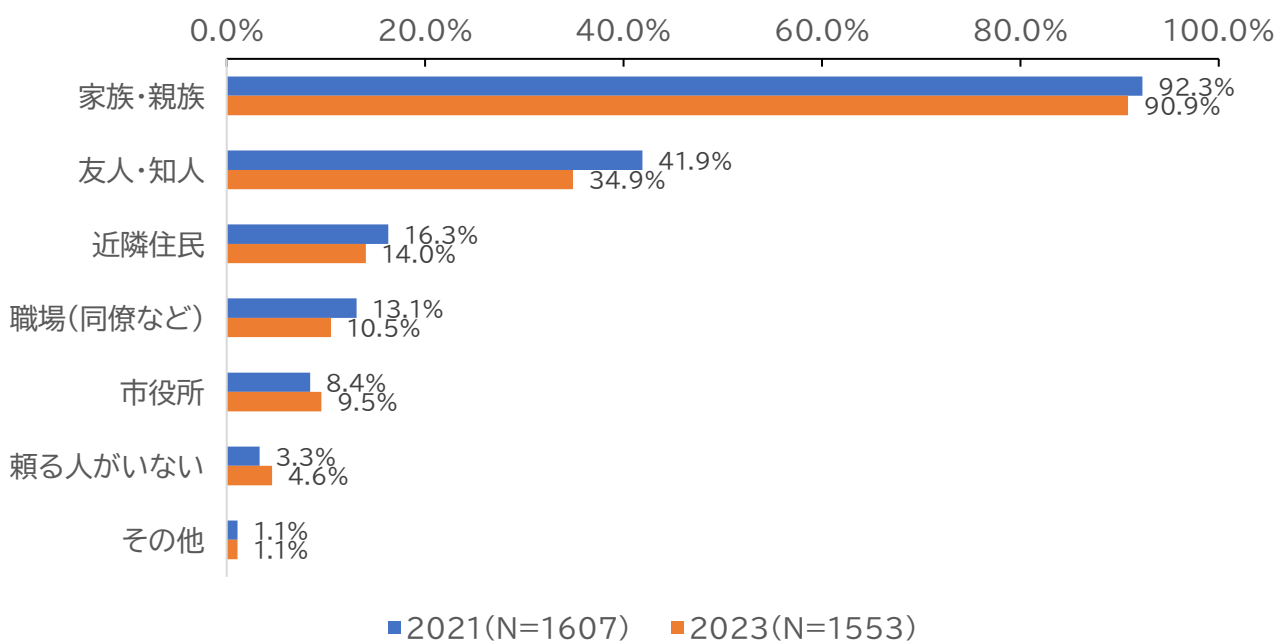
2021年度と比べると、「信頼できる医者がある」「専門的な医療を受けられる」「様々な症状に対応している」などが誤差の範囲を超えて少ないのに対し、「自宅や職場からの距離が近い」「交通の便が良い」は誤差の範囲を超えて多くなっています。

問 24 あなたは、自分が困ったときに誰を頼りにしますか。(あてはまるものすべてに○)

自分が困ったときに頼りにするのは「家族・親族」が 90.9%と最も多く「友人・知人」が 34.9%、「近隣住民」が 14.0%となっています。2021 年度と比べ「友人・知人」が誤差の範囲を超えて少なくなっています。

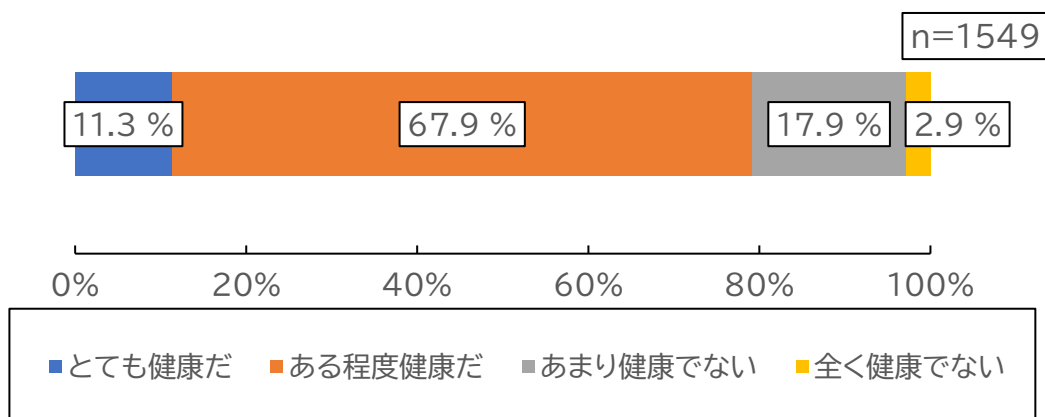


	回答数	割合
家族・親族	1411	90.9%
友人・知人	542	34.9%
近隣住民	218	14.0%
職場(同僚など)	163	10.5%
市役所	148	9.5%
頼る人がいない	71	4.6%
その他	17	1.1%

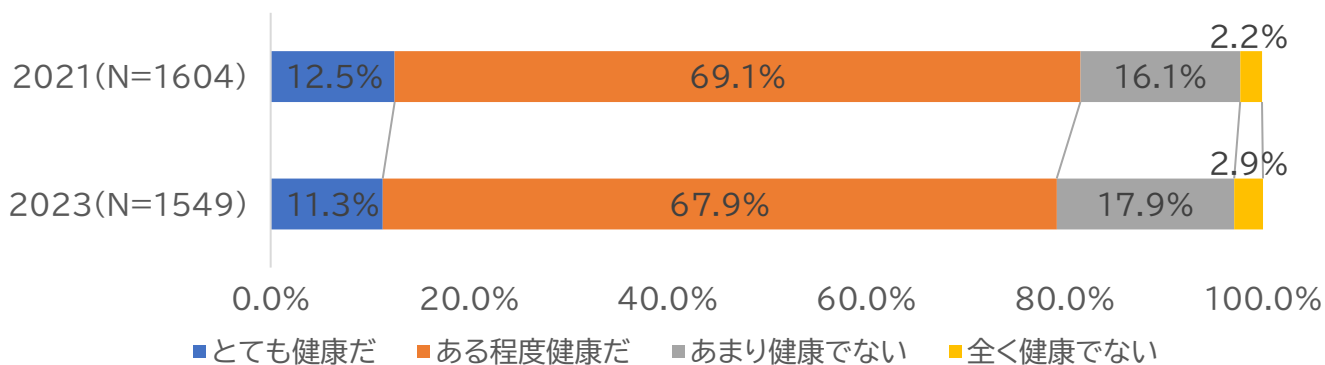


問 25 あなたは、ご自身が健康だと感じていますか。(1つに○)

現在、健康だと感じているかについて、「ある程度健康だ」(67.9%)が最も多く、次いで「あまり健康でない」(17.9%)、「とても健康だ」(11.3%)となっています。2021年度と比べ違いは誤差の範囲に収まっています。

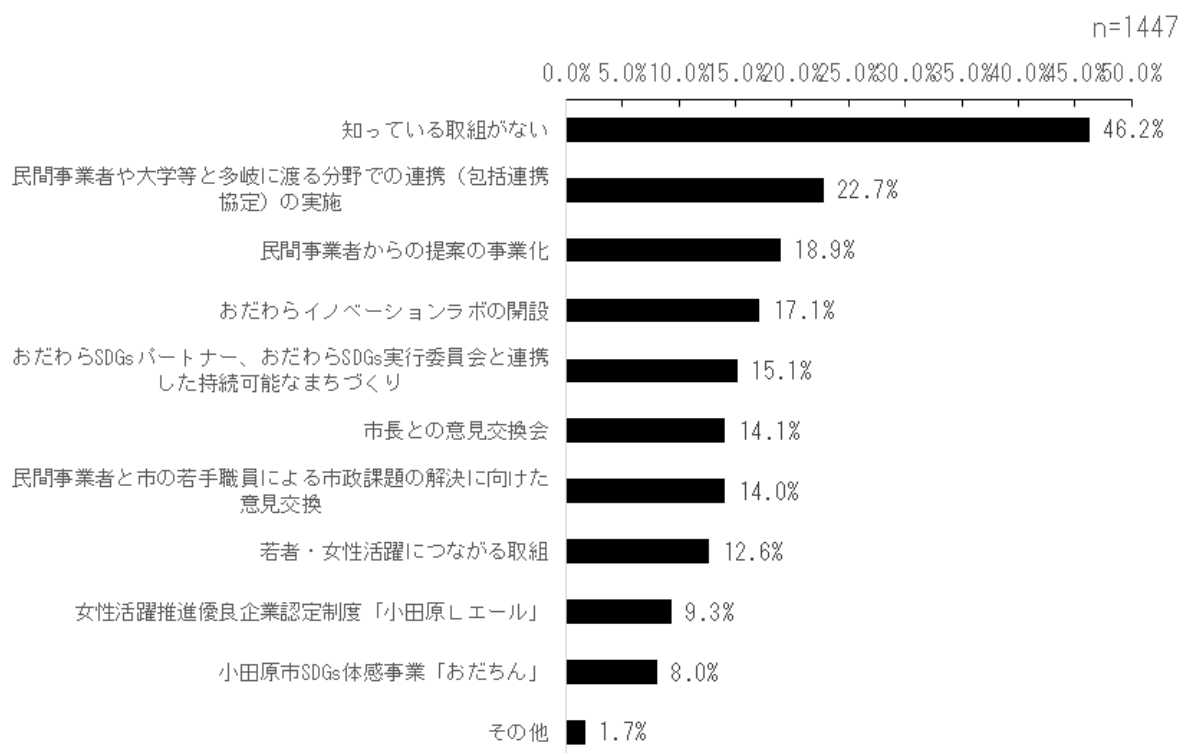


	回答数	割合
とても健康だ	175	11.3%
ある程度健康だ	1052	67.9%
あまり健康でない	277	17.9%
全く健康でない	45	2.9%



問 26-A 本市の「公民連携・若者女性活躍」で効果的であると感じる取組は何ですか。(あてあまるものすべてに○)。

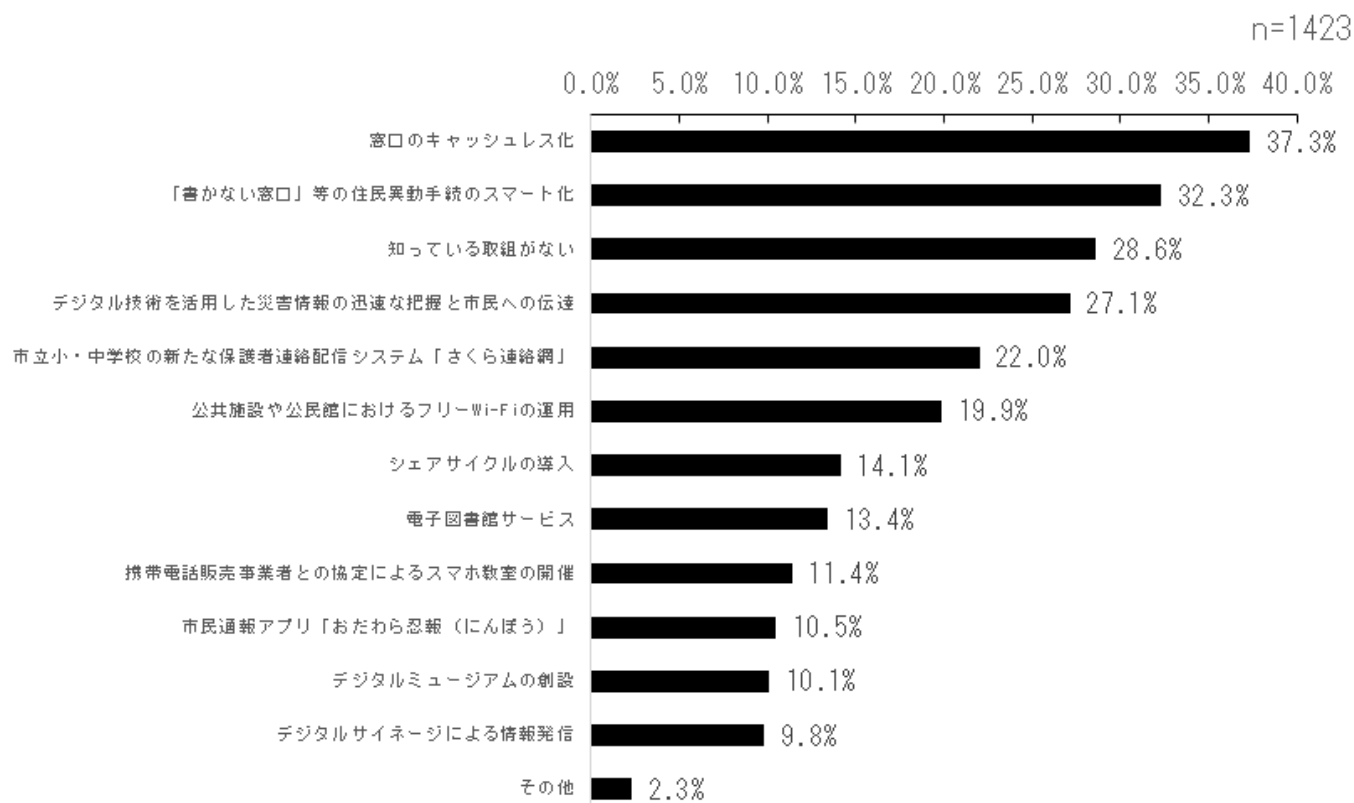
「公民連携・若者女性活躍」について、「知っている取組がない」(46.2%)が最も多く、効果的であると感じる取組は「民間事業者や大学等と多岐に渡る分野での連携(包括連携協定)の実施」(22.7%)、「民間事業者からの提案の事業化」(18.9%)などです。



	回答数	割合
知っている取組がない	669	46.2%
民間事業者や大学等と多岐に渡る分野での連携(包括連携協定)の実施	329	22.7%
民間事業者からの提案の事業化	274	18.9%
おだわらイノベーションラボの開設	248	17.1%
おだわらSDGsパートナー、おだわらSDGs実行委員会と連携した持続可能なまちづくり	219	15.1%
市長との意見交換会	204	14.1%
民間事業者と市の若手職員による市政課題の解決に向けた意見交換	203	14.0%
若者・女性活躍につながる取組	183	12.6%
女性活躍推進優良企業認定制度「小田原Lエール」	135	9.3%
小田原市SDGs体感事業「おだちゃん」	116	8.0%
その他	24	1.7%

問 26-B 本市の「デジタルまちづくり」で効果的であると感じる取組は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「デジタルまちづくり」で効果的であると感じる取組は、「窓口のキャッシュレス化」(37.3%)が最も多く、次いで「書かない窓口」等の住民異動手続のスマート化」(32.3%)などとなっています。

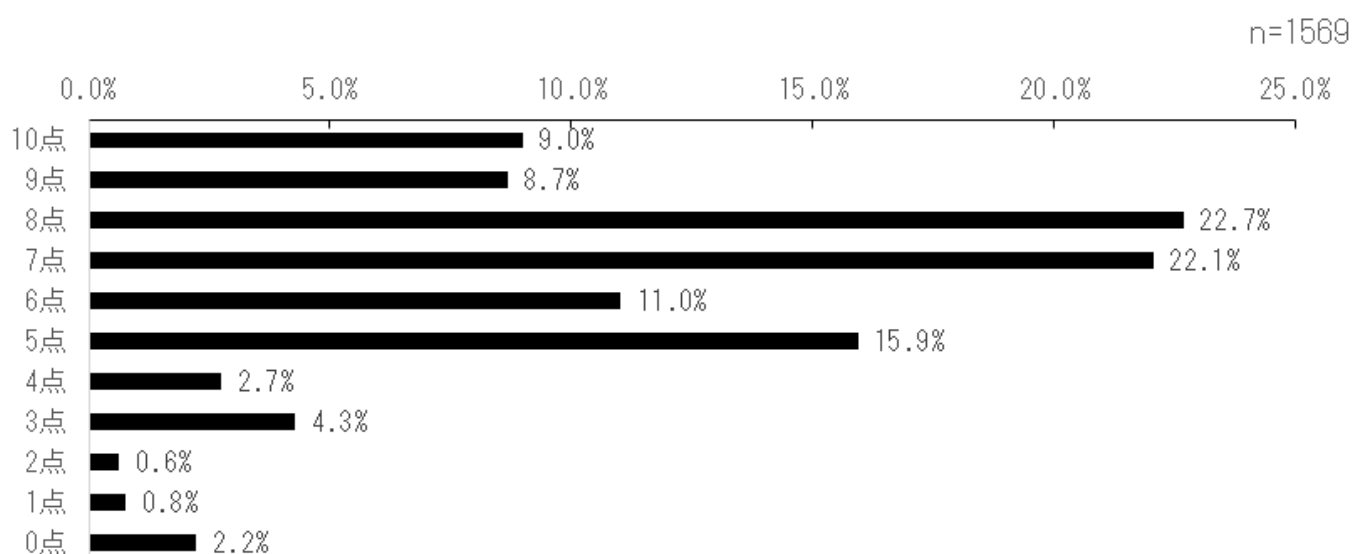


	回答数	割合
窓口のキャッシュレス化	531	37.3%
「書かない窓口」等の住民異動手続のスマート化	460	32.3%
知っている取組がない	407	28.6%
デジタル技術を活用した災害情報の迅速な把握と市民への伝達	386	27.1%
市立小・中学校の新たな保護者連絡配信システム「さくら連絡網」	313	22.0%
公共施設や公民館におけるフリーWi-Fiの運用	283	19.9%
シェアサイクルの導入	201	14.1%
電子図書館サービス	191	13.4%
携帯電話販売事業者との協定によるスマホ教室の開催	162	11.4%
市民通報アプリ「おだわら忍報(にんぼう)」	149	10.5%
デジタルミュージアムの創設	144	10.1%
デジタルサイネージによる情報発信	140	9.8%
その他	33	2.3%

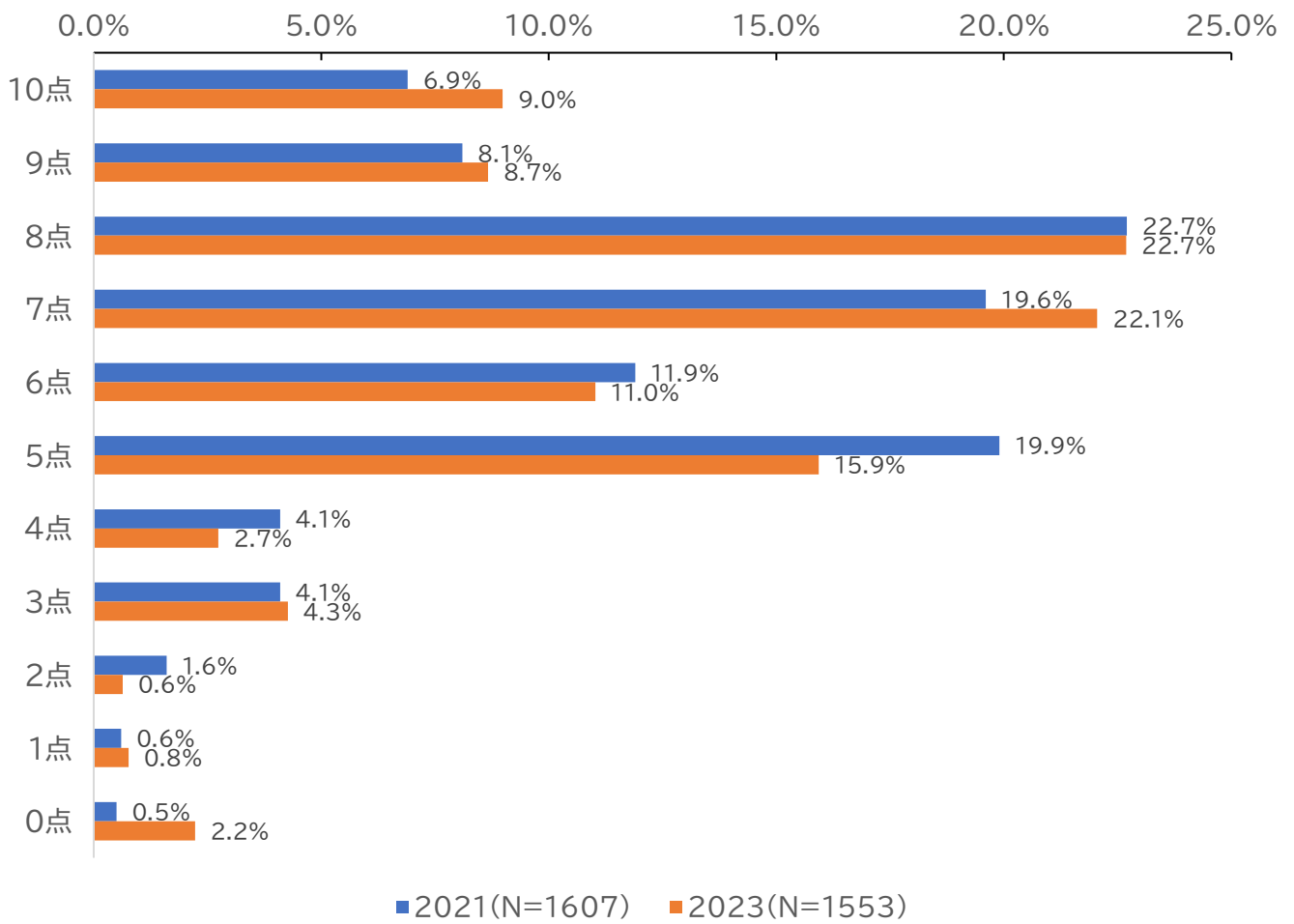
D. あなたの幸福感について教えてください

問 27 現在、あなたはどの程度「幸せ」だと感じていますか。「幸せ」を 10 点、「不幸」を 0 点とすると何点になりますか。(1 つに○)

幸福度について、「8 点」が 22.7%で最も多く、「6 点」～「10 点」とあわせると、約 70%の人が、5 点よりも高い点数にしています。

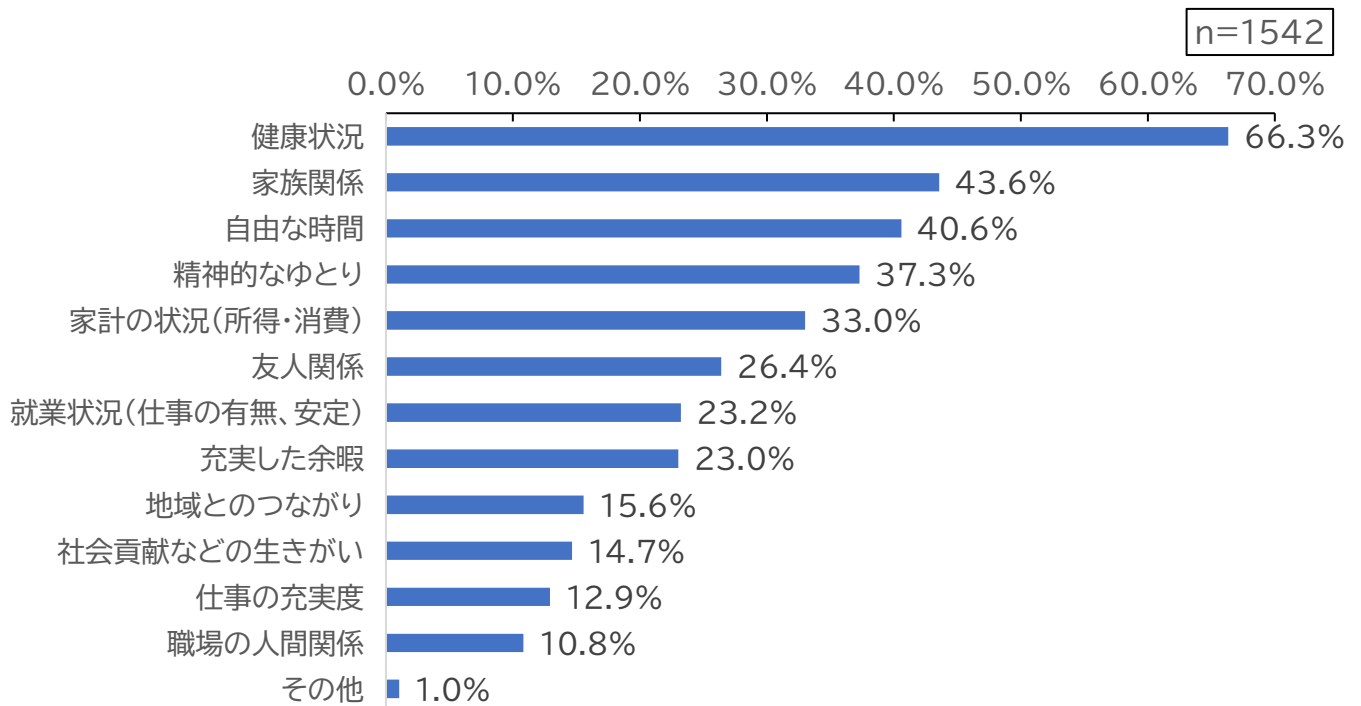


	回答数	割合
10 点	141	9.0%
9 点	136	8.7%
8 点	356	22.7%
7 点	346	22.1%
6 点	173	11.0%
5 点	250	15.9%
4 点	43	2.7%
3 点	67	4.3%
2 点	10	0.6%
1 点	12	0.8%
0 点	35	2.2%

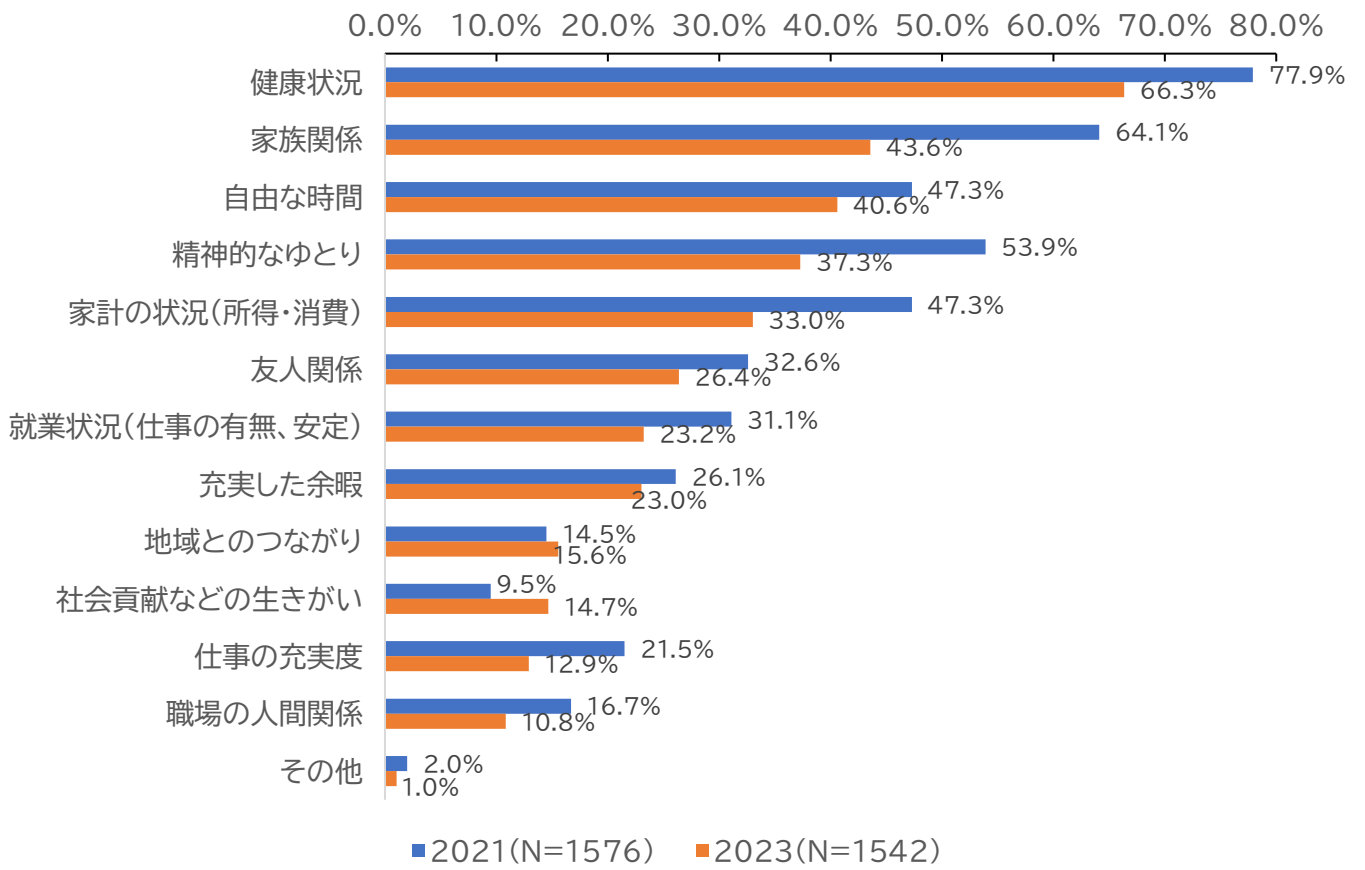


問 28 幸せを判断する際に、重視した点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

幸せの判断について、「健康状況」(66.3%)がと最も多く、次いで「家族関係」(43.6%)、「自由な時間」(40.6%)となっています。



	回答数	割合
健康状況	1023	66.3%
家族関係	672	43.6%
自由な時間	626	40.6%
精神的なゆとり	575	37.3%
家計の状況(所得・消費)	509	33.0%
友人関係	407	26.4%
就業状況(仕事の有無、安定)	358	23.2%
充実した余暇	355	23.0%
地域とのつながり	240	15.6%
社会貢献などの生きがい	226	14.7%
仕事の充実度	199	12.9%
職場の人間関係	167	10.8%
その他	16	1.0%



3.調査票

【令和5年度】小田原市のまちづくりに関する市民意識調査

～皆さまのご意見をお聞かせください～

日ごろから、市政運営に対しご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

小田原市では、2022年から2030年までの9年間の計画期間とする、第6次小田原市総合計画「2030 ロードマップ 1.0」を推進しています。この計画は、2030年に目指すまちの姿とその実現に向けた取組を、総合的にまとめたものです。

この度、総合計画の推進にあたり、広く市民の皆さまのご意見をお聴きするため、令和3年度及び令和4年度に引き続き、意識調査を実施することとしました。

今年度この調査を実施するにあたっては、住民基本台帳に記載されている18歳以上の市民の皆さまの中から3,000名の方を無作為に選ばせていただきました。

無記名でお答えいただき、調査結果は、「この意見の方は全体の何%」という形で集計しますので、回答者個人の情報が特定されることはありません。

また、回答いただいた内容は、総合計画の推進や市政運営全般の参考とさせていただく目的以外には一切使用しません。

お忙しい中、お手数をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願い申し上げます。

令和5年4月25日

小田原市長 守屋 輝彦

回答方法 ※あなたのIDは【《回答ID》】です。

必ず宛て名のご本人が回答してください。(代筆可能)

所要時間は約10分(28問)です。

回答方法は以下の3つの方法から1つの方法をお選びください。

※回答用紙とオンラインにおいて、同一IDでの回答が確認された場合、回答用紙を優先します。

(1) 調査票兼回答用紙に直接記入して回答

- ・黒のボールペンか、濃い鉛筆などではっきりと記入してください。
- ・記入が終わりましたら、返信用封筒に、調査票兼回答用紙を入れて投函してください。
- ・返信用封筒は切手不要です。また、回答者の住所や氏名は記入しないでください。

(2) スマートフォンでの回答

- ・2次元コードを読み取り、専用ページから回答してください。

(3) パソコンでの回答

- ・下記のサイト URL を入力するか、小田原市のホームページのサイト内検索に「**p31756**」と入力して、専用ページにアクセスしてください。

《サイトURL》

<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/p31756.html>

※なお、昨年度の調査結果も、上記URLのページで確認できます。



回答期限は **5月12日(金)【必着】**です。

■ 問い合わせ先 小田原市企画部 企画政策課 企画政策係
電話：0465-33-1253 (直通)
電子メール：kikaku@city.odawara.kanagawa.jp

調査票兼回答用紙

「回答方法」に記載されている、ID を記入してください

【 - 】

※この ID は重複回答の回避を目的としており、個人を特定するものではありません。

A. あなたご自身について教えてください <全 11 問>

問 1 あなたの性別を伺います。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. その他
-------	-------	--------

問 2 あなたの年齢を伺います。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. 10 歳代	2. 20 歳代	3. 30 歳代	4. 40 歳代
5. 50 歳代	6. 60 歳代	7. 70 歳代	8. 80 歳代以上

問 3 あなたは配偶者がいらっしゃいますか。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. 未婚	2. 既婚（パートナー登録を含む）	3. 離別	4. 死別
-------	-------------------	-------	-------

問 4 同居の家族構成を伺います。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. ひとり暮らし	2. 夫婦
3. 二世帯同居（あなたと子供）	4. 二世帯同居（あなたと親）
5. 三世帯同居	6. その他（ ）

問 5 同居の家族には、次に当てはまる方がいらっしゃいますか。あなた自身を含め、次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。また、（ ）内に人数を記入してください。

1. 未就学の子ども（ 人）	2. 小学生（ 人）
3. 中学生（ 人）	4. 高校生（ 人）
5. 大学生・専門学生（ 人）	6. 65～74 歳の高齢者（ 人）
7. 75 歳以上の高齢者（ 人）	8. 該当する人はいない

問 6 あなたの居住形態はどれにあたりますか。次の中から 1 つだけ○をつけてください。

1. 戸建て（持ち家）	2. 戸建て（賃貸）
3. マンション・アパート（持ち家）	4. マンション・アパート（賃貸）
5. 寮・社宅等	6. その他（ ）

問7 あなたの住まいは、どの連合自治会区域に含まれますか。次の中から1つだけ○をつけてください。連合自治会がわからない場合は、枠外の欄に住所を記入してください。(記入例：小田原市 栄町1丁目)

1. 緑	2. 新玉	3. 万年	4. 幸	5. 十字
6. 片浦	7. 早川	8. 大窪	9. 山王網一色	10. 足柄
11. 芦子	12. 二川	13. 久野	14. 東富水	15. 富水
16. 桜井	17. 酒匂・小八幡	18. 下府中	19. 富士見	20. 豊川
21. 上府中	22. 曾我	23. 下曾我	24. 国府津	25. 前羽
26. 橋北				

※ わからない場合：(小田原市) ※ 番地以下は記入不要

問8 あなたの居住歴をお聞きます。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 小田原市に生まれ、ずっと市内に住んでいる	2. 小田原市に生まれ、市外に出たことがある
3. 小田原市外で神奈川県内生まれである	4. 神奈川県外生まれである

問9 あなたは小田原市に居住して何年ですか。次の中から1つだけ○をつけてください。なお、一度市外に転出している場合は、通算年数でお答えください。

1. 1年未満	2. 1～5年	3. 6～10年	4. 11～20年	5. 21年以上
---------	---------	----------	-----------	----------

問10 あなたの主な就業状況について伺います。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 会社員	2. 公務員	3. 自営業・個人事業主
4. 会社役員	5. 専業主婦・夫	6. パート・アルバイト
7. 学生 ^{※1}	8. 無職 ^{※2}	9. その他 ()

※1 パート・アルバイト等している学生の方は、こちらを選択してください。 ※2 年金生活者等を含みます。

問11 あなたの世帯収入(年金、配偶者の収入も含む)について伺います。次の中から1つだけ○をつけてください。

1. 100万円以下	2. 101～200万円	3. 201～400万円
4. 401～600万円	5. 601～800万円	6. 801～1000万円
7. 1001～1200万円	8. 1201万円以上	9. わからない

B. あなたが小田原市に対して持つイメージを教えてください <全5問>

問 12 小田原市に対してどんなイメージを持っていますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 1. 小田原城を中心とした歴史ある城下町 | 2. 豊かな自然(森・里・川・海)に恵まれたまち |
| 3. 外国人をはじめ多くの観光客が訪れる観光都市 | 4. 箱根や伊豆の玄関口 |
| 5. なりわい(地場産業)が盛んなまち | 6. 著名人の邸宅が多かったまち |
| 7. 都会でも田舎でもないまち | 8. 温暖な気候で住みやすいまち |
| 9. 都心に近く、交通の便が良いまち | 10. 食べ物が美味しいまち |
| 11. 人と人のつながりが強いまち | 12. この中にイメージするものはない |
| 13. その他 () | |

問 13 小田原市は、住みやすいまちですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|-------------|--------------|----------|--------------|
| 1. とても住みやすい | 2. ある程度住みやすい | 3. 住みにくい | 4. きわめて住みにくい |
|-------------|--------------|----------|--------------|

問 14 今後も小田原市に住み続けたいですか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. ずっと住み続けたい | 2. 当分住み続けたい | 3. いずれ転居したい | 4. すぐに転居したい |
|--------------|-------------|-------------|-------------|

問 15-A 問 14 で、「1. ずっと住み続けたい」または「2. 当分住み続けたい」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 周辺の居住環境が良い | 2. 自然環境が豊か |
| 3. 交通の便が良い | 4. 親しい人間関係がある |
| 5. 生まれ育ったまちだから | 6. 通勤・通学や業務に便利 |
| 7. 買い物や通院など日常生活が便利 | 8. 防災面で安心できる |
| 9. 子育て支援が充実 | 10. 福祉サービスが充実 |
| 11. 娯楽や余暇を楽しむ場が豊富 | 12. 歴史や伝統を感じることができる |
| 13. その他 () | |

問 15-B 問 14 で、「3. いずれ転居したい」または「4. すぐに転居したい」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 周辺の居住環境が良くない | 2. 自然環境が豊かでない |
| 3. 交通が不便 | 4. 人間関係に不満 |
| 5. 生まれ育ったまちではない | 6. 通勤・通学や業務に不便 |
| 7. 買い物や通院など日常生活が不便 | 8. 防災面で不安 |
| 9. 子育て支援が不十分 | 10. 福祉サービスが不十分 |
| 11. 娯楽や余暇を楽しむ場が少ない | 12. その他 () |

問 16 小田原市は、小田原の強みを生かしたまちづくりができていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|------------|-----------|
| 1. とても思う | 2. ある程度思う | 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |
|----------|-----------|------------|-----------|

C. あなたの暮らしについて教えてください <全 10 問>

第6次小田原市総合計画「2030 ロードマップ 1.0」では、「医療・福祉」、「防災・減災」、「教育・子育て」、「地域経済」、「歴史・文化」、「環境・エネルギー」、「まちづくり」の7つの重点施策と、「行政経営」、「公民連携・若者女性活躍」、「デジタルまちづくり」の3つのまちづくりの推進エンジンを位置付けています。

今年度の調査では、7つの重点施策のうち、「防災・減災」、「医療・福祉」、3つのまちづくりの推進エンジンのうち「デジタルまちづくり」「公民連携・若者女性活躍」に関する内容について伺います。

<防災・減災>

総合計画における目標

- ・防災訓練や防災知識の普及を通じて、災害時のリスクや対応を学び、逃げ遅れゼロを実現する
- ・災害時に適切な情報が多様な手段により全ての人に届いている

問 17 あなたは、ここ5年以内で防災訓練に参加したことがありますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことがない |
|--------------|--------------|

問 18-A 問 17 で、「1. 参加したことがある」を選んだ方に伺います。防災訓練に参加したことでどのようなことを感じましたか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 防災の大切さを知るきっかけとなった | 2. 災害時に自分がとるべき行動を知ることができた |
| 3. 災害時に地域が行う活動を知ることができた | 4. 内容が形式化しており、新たな知識は得られなかった |
| 5. もっと多くの人が参加すると良い | 6. 特にない |
| 7. その他 () | |

問 18-B 問 17 で、「2. 参加したことがない」を選んだ方に伺います。その理由は何ですか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 内容が形式化している | 2. いつ実施しているか知らなかった |
| 3. 会場に行くのが大変 | 4. 関心がなかった |
| 5. 時間が拘束される | 6. 仕事などと重なった |
| 7. 訓練に参加する必要があると判断した | 8. 特に理由はない |
| 9. その他 () | |

問 19 あなたは、災害時の情報をどのように入手していますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 市の防災アプリ (おだわら防災ナビ) | 2. 防災メール |
| 3. 防災行政無線 | 4. テレホンサービス |
| 5. テレビ放送 (ジェイコム湘南・神奈川のデータ放送) | 6. FM おだわら |
| 7. 緊急速報メール | 8. Yahoo! 防災速報 |
| 9. 市ホームページ | 10. J:COM 防災情報サービス |
| 11. 入手できない | 12. その他 () |

問 20 あなたは、お住まいの地区のハザードマップを持っていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 自宅に置いてあり、内容も確認している。 | 2. 自宅には置いてあるが、内容は確認していない。 |
| 3. 自宅には置いていないが、防災アプリ等で確認している。 | 4. ハザードマップを見たことがない。 |

問 21 小田原市が実施する、防災対策の取組に対する満足度を教えてください。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-------|-------|----------|
| 1. とても満足 | 2. 満足 | 3. 不満 | 4. とても不満 |
|----------|-------|-------|----------|

<医療・福祉>

総合計画における目標

・生涯にわたって幸せと安心感を得られるまち

問 22 あなたは、24 時間 365 日安心して医療が受けられる体制が整っていると思いますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|----------|-----------|------------|-----------|
| 1. とても思う | 2. ある程度思う | 3. あまり思わない | 4. 全く思わない |
|----------|-----------|------------|-----------|

問 23 どういったことが充実すれば、小田原市の医療にもっと安心できるようになりますか。次の中から3つまで選んで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 信頼できる医師がいる | 2. 医師や看護師が親切である |
| 3. 様々な症状に対応している | 4. 専門的な医療が受けられる |
| 5. 自宅や職場から距離が近い | 6. 交通機関の便が良い |
| 7. 経済的負担が少ない | 8. 待ち時間が少ない |
| 9. 急な外来に対応できる | 10. 病室や病棟などがきれい |
| 11. 医療機関同士が連携している | 12. 退院後のケアの充実 |
| 13. 在宅医療の充実 | 14. 医療機関以外での相談機能の充実 |
| 15. その他 () | |

問 24 あなたは、自分が困ったときに誰を頼りにしますか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|----------|------------|-------------|---------|
| 1. 家族・親族 | 2. 友人・知人 | 3. 職場（同僚など） | 4. 近隣住民 |
| 5. 市役所 | 6. 頼る人がいない | 7. その他 () | |

問 25 あなたは、ご自身が健康だと感じていますか。次の中から1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|-----------|------------|-------------|------------|
| 1. とても健康だ | 2. ある程度健康だ | 3. あまり健康でない | 4. 全く健康でない |
|-----------|------------|-------------|------------|

問 26 本市では「公民連携・若者女性活躍」「デジタルまちづくり」をまちづくりの推進エンジンに位置付け、様々な取組を行っていますが、次の中からあなたが効果的であると感じる取組すべてに○をつけてください。

【公民連携・若者女性活躍】

1. 民間事業者からの提案の事業化（民間提案制度の実施） （本市が取り組む事業を対象に民間事業者からの提案を募集し、豊島邸等の歴史的建造物の利活用、広告付防火服ユニフォーム化等を実施）
2. 民間事業者や大学等多岐に渡る分野での連携（包括連携協定）の実施 （防災・災害対応の充実、スポーツや観光の振興、健康増進、脱炭素社会の実現等の取組を実施）
3. おだわらイノベーションラボの開設 （ミナカ小田原に開設した、多様な主体が集い交流できる公民連携、若者・女性活躍の拠点）
4. 民間事業者と市の若手職員による市政課題の解決に向けた意見交換 （民間事業者と市の双方の資源を活用した施策を検討する、若手職員交流会を実施）
5. 若者・女性活躍につながる取組 （表現の場となる高校生によるチョークアート、異業種で働く女性交流会、まちづくりにつながる産官学による公民共創プロジェクト研究、地域活性化などを目的とした大学との連携事業等の取組を実施）
6. 市長との意見交換会 （成人式運営委員、女性活躍推進優良企業認定制度「小田原 L エール」認定企業で働く女性、郵便局若手社員や民間企業、高校生、大学生等とのまちづくりにつながる意見交換会）
7. 女性活躍推進優良企業認定制度「小田原 L エール」 （女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる市内の企業などを、優良企業として認定する制度）
8. おだわら SDGs パートナー、おだわら SDGs 実行委員会と連携した持続可能なまちづくり （SDGs 普及啓発のための出前講座・体験講座・イベントの開催、新しいアイデア出しや課題解決に向けたワークショップの実施等）
9. 小田原市 SDGs 体感事業「おだちゃん」 （アプリを活用し、地域を良くしたい想いがつながるイベントへの参加や行動をすると、「おだちゃん（小田原のポイントの単位）」が得られ、もらった「おだちゃん」は、その地域ならではの特別な体験に使用可能）
10. その他 ()
11. 知っている取組がない

【デジタルまちづくり】

1. 窓口のキャッシュレス化 (市役所や公共施設の一部窓口で各種手数料や施設使用料の支払いに、クレジットカード・電子マネーなどのキャッシュレス決済の利用が可能に)
2. 「書かない窓口」等の住民異動手続きのスマート化 (住所変更に伴う各種手続きの際に、窓口で同一の情報を複数回記入する手間の省略)
3. デジタル技術を活用した災害情報の迅速な把握と市民への伝達 (スマートフォン向けアプリ「おだわら防災ナビ」、ワイヤレスセンサーを用いた河川氾濫予測システムの導入、防災メール等による情報発信)
4. 電子図書館サービス (スマートフォン・パソコン等からインターネットを通じて、読書を楽しむことができるサービス)
5. 市立小・中学校の新たな保護者連絡配信システム「さくら連絡網」 (保護者がスマートフォンで、学校からの通知の確認や欠席連絡などができるシステム)
6. 携帯電話販売事業者との協定によるスマホ教室の開催
7. デジタルミュージアムの創設 (本市が所蔵する貴重な考古・歴史・美術・民俗等の資料をインターネット上で、いつでも簡単に見ることができる)
8. 市民通報アプリ「おだわら忍報 (にんぼう)」 (道路損傷や不法投棄等についてスマートフォン等から通報できるシステム)
9. 公共施設や公民館におけるフリーWi-Fiの運用 (公共施設 20 箇所、地区公民館 130 箇所にフリーWi-Fiを設置)
10. デジタルサイネージによる情報発信 (市政情報や観光情報、小田原城天守閣等の公共施設の混雑状況を発信。災害等の際は、緊急情報もタイムリーに発信可能)
11. シェアサイクルの導入 (電動アシスト自転車のシェアリングサービスとして自転車のステーションを小田原駅周辺に設置)
12. その他 ()
13. 知っている取組がない

D. あなたの幸福感について教えてください <全2問>

問 27 現在、あなたはどの程度「幸せ」だと感じていますか。「幸せ」を 10 点、「不幸」を 0 点とすると何点になりますか。いずれかの数字から 1 つだけ○をつけてください。

幸せ											不幸
10 点	9	8	7	6	5	4	3	2	1		0 点

問 28 幸せを判断する際に、重視した点は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 健康状況	2. 自由な時間	3. 就業状況（仕事の有無、安定）
4. 精神的なゆとり	5. 社会貢献などの生きがい	6. 家族関係
7. 友人関係	8. 職場の人間関係	9. 地域とのつながり
10. 仕事の充実度	11. 家計の状況（所得・消費）	12. 充実した余暇
13. その他（		）

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

最後に、今回の市民意識調査に対するご意見などがありましたら、お聞かせください。